

明治二十六年

一月一日 日曜 晴朗、寒元日無類。夜、十四日月、如鏡。有客。
朝五時起。拝神。六時三十分、挙家一同於食堂、椒酒雜煮ヲ喫ス。寒ニ盛也。畢而拉生徒等、
氷川神社ニ詣シ、散歩シテ丸山ニ上リ、富士山ニ拝シテ帰。賀客続々来。賀正名刺百三十軒
余、又五日発会招待状、百三十軒郵送ス。
跡見玉枝より海苔、菓子。

一月二日 月曜 晴朗、月十五夜、如昼。有客。

朝五時起。課行如昨。賀客続々来。此朝モ食堂ニテ挙家喫雜煮。

弘方摘要 両大師え初穂、二円。

平尾竹子より鶏卵一箱。山田妻より鴨一籠。和田倉子母より鶏卵一箱、ハンカチ一箱。

一月三日 火曜 晴天、夜月、清光。此日、地震。有客。

朝六時起。食堂ニテ食事。三日如例、賀客続々来。余、午下、小松宮殿え祝詞申上ル。宮殿
下、三島御旅行ニテ、御息所、御風氣ニテ御奥ニテ御祝酒如例。夫ヨリ御宝前え参詣ス。受
教行。畢而三条邸ニ詣ス。資君様及御所様、其外御一統ニ拝晤ス。祝酒如例。夫ヨリ小松若
宮邸ニ詣ス。両殿下ニ謁ス。祝酒ヲ賜リ、八重君様御方ニテ、晡時迄遊ぶ。既ニシテ去。此
夕、新年会宴ヲ設ク。来客者、重威、万里小路八重及栄、其外挙家一同盛会也。十時済、客
去。又十二時臥。

三条家より紅絹（〇）一疋。万里小路より御すもし一皿。

弘方摘要 御宝前え五錢。車夫二人え壹円。

受方摘要 桜井時老より一円。

一月四日 水曜 晴、午下陰。有客。

朝六時起。課行如例。朝、来客続々来。皆祝酒ヲ出ス。伊藤徳女、從此日来仕ス。
伊藤氏より、みかん一籠。和田氏より煙草。中井敬所より帛紗。花月堂より菓子一箱。安久
津愛子、村上小枝子より鶏卵一箱。

一月五日 木曜 天晴朗。有客。

朝六時起。課行如例。此日、新年会ヲ執行ス。午下一時より生徒続々来。始、祝酒、桜花ノ
押菓子、濃薄二箇ヲ出ス。畢而福引。四時全畢。生徒等、**尽観**而帰。夜酒宴ヲ設ク。九時畢。
先新年会モ頗盛大也。

弘方摘要 **しほり絹**一疋、三円四六錢。

此日到来物、松魚及鶏卵、菓子、其外種々、五十六品。

* 尺観(尺歛) * しほり絹(絞絹)

一月六日 金曜 晴朗。有客。

朝六時起。課行如例。午下、教長来、請教。

(来客) 窪谷氏、其娘、重威、教長。

九条恵子より鶏卵一箱、貝手塩皿十人前箱入。窪谷氏より鶏卵一箱。

一月七日 土曜 晴朗。有客。

朝六時起。課行如例。午下早々、拉栄子、宮城藤袴内侍殿え年始ニ参る。内侍殿、四日夜怪我、右の御手負腸、御局ニ引籠居られる。実驚愕。然し御身体ニハ無障、先々御動遙モナキよし。園小菊権典侍殿ニ面晤ス。同典侍及藤袴内侍殿、懐紙及色紙之御手本ヲ揮毫ス。畢而、御祝酒及御料理、頂戴ス。四時退出ス。

(来客) 石山基正、島田三郎及信子、吉村夫婦、仁科駒来。

高倉典侍より白縮緬切地、文庫、楊枝入、鼻紙入。園内侍より黒塗文庫、真綿入、緋しほり半反。藪兼子より白羽二重(〇)一反。藤袴内侍より糸織(〇)一反、鼻紙入、御キンチャク。栄子え糸織一反、ひら打かんさし、半襟一かけ。島田氏より角砂糖。吉村より菓子。仁科より、みかん。

払方摘要 藤袴様仲居え三十銭。

受方摘要 紅梅典侍より千疋。早蕨典侍より千疋。藤袴内侍より五百疋。楓内侍より五百疋。

吉田鉦子より五百疋。新樹典侍より七百疋。

* 負腸(負傷) * 動遙(動揺) * 緋しほり(緋絞) * キンチャク(巾着) * かんさし(簪)

一月八日 日曜 晴朗、暖気如春。有客。

朝六時起。課行如例。朝九時出門。同桃子、詣青山御所。浜荻典侍、若松典侍、糸桜内侍ニ謁シテ御料理及被饗昼餐。一時退出。一条殿え参り辰子様ニ面晤ス。又九条家え参り、道実殿、恵子殿ニ面晤、祝酒ヲ賜ル。四時去。塾生、続々帰校ス。夕景地震。

(来客) 原富太郎、岩佐知賀、佐々木豊子。

浜荻典侍殿より白地御切、巾着二つ、鼻紙入。若松典侍殿よりみの紙十帖、半切五帖、白羽二重半反。糸桜殿より浅黄縮緬半反、半切五帖、御茶椀、急須。楊梅典侍より縮緬帛紗、半切五帖、封筒十帖。万里国子より絹半カチ十枚。福田芳子より御砂糖一箱、御茶椀、急須。一条殿より半襟、小菊一べ、御茶碗其外箱入、銀御茶台一箱。岩佐氏より鶏卵一箱。佐々木豊子より鶏卵一箱。

受方摘要 浜荻様より三円。若松様より五百疋。糸桜様より五百疋。楊梅様より五百疋。一条様より三百疋。

* みの紙(美濃紙) * 絹半カチ(絹ハンカチ)

一月九日 月曜 晴朗、暖気。有客。
朝六時起。課行如例。此日ヲ以授業始ヲ執行ス。大略生徒集来。午下、姉邸及小西島田氏え年始ニ行。竹林ニテ写真撮影ス。晡時帰。

(来客) 裏松、山本鶴。
角田氏より鶏卵一箱。榎本より鶏卵一箱。毛利万子より鶏卵一箱、菓子一箱。北川貞子より帛紗。吉田庸子より菓子一箱、半紙十帖。五十嵐より菓子一箱、羽織紐。石橋君子より短冊三十枚。森竹時得より菓子一箱。園頼子より大鯛、蛤。

一月十日 火曜 雨。無客。

朝六時起。課行如例。午下、閑院宮邸ニ詣ス。御息所ニ謁ス。祝酒御料理ヲ被饗、談移時。去テ中島氏え行、閑談。晡時帰。

閑院宮殿下より九谷焼茶碗急須二箱、紋縮緬切地。稲垣より、みかん二箱。
弘方摘要 車夫え、廿銭。表え借ス、三十円。

*借ス(貸す)

一月十一日 水曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下、戸田氏ノ稽古始ヲナス。畢而田村氏え年賀ヲ申入ル。夫ヨリ岩倉邸ニ行。四時、去テ御宝前え参詣ス。教長ニ教ヲ受く。晡時帰。

(来客) 辻愛子、堤淑子来。

戸田氏より鼠縮緬袖切、帯。岩倉氏ヨリ絹半カチ二ツ、半襟一ツ、鼻紙夾。辻愛子より鶏卵一箱。堤淑子より鶏卵一箱。

弘方摘要 宝前え廿五銭。

*絹半カチ(絹ハンカチ)

一月十二日 木曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。終日揮毫ス。高鹿尹子、其妹信子入門入塾ス。

(来客) 高鹿尹子、其妹、大崎梅子、江沢房子。

高鹿より葡萄酒二瓶。大崎氏より真綿。高屋より青海苔。

一月十三日 金曜 雪、不積。有客。

朝六時起。課行如例。

(来客) 安富幾子、田中正子帰塾ス。

受方摘要 表より返済、四十円、請取。

一月十四日 土曜 晴朗。有客。

朝六時起。課業如例。午下、揮毫ス。此日、高屋鱗子**雇解**。

(来客) 田村長子及増子、来。

松田宗貞より、カステイラ一箱。田村氏ヨリ肩懸箱入。縮緬腰帶、半襟一懸。家内一同、品物到来。

受方摘要 田村氏より、千疋。田中正子より、一円。

*雇解(雇解)

一月十五日 日曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下早々万里家え年礼二行。佐野隠居えも訪。不在不逢。夫より姉邸二行。此日、重孝児、喫食初之祝ニ付被招。余、愛治郎、千久、桃子、皆至。万里為、栄、石山はや子等も来。**吉村長唱**等ニテ大盛會也。九時帰。

(来客) 山本鶴、玉枝来。

今井氏より鮭一尾。山本氏より鶏卵一箱。木津みの忠より、**かふら漬**一樽。南条氏より赤飯一重、松魚。

*吉村(芳村) *長唱(長唄) *かふら漬(蕪漬)

一月十六日 月曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下三時より北白川宮邸ニ御年詞申上ル。夫より南条氏、**盤田帯**之祝ニ付被招。中島氏、峰氏母来ル。祝宴ヲ設ケラル。畢而帰。時、七時也。

(来客) 伊藤子之松。

池田孝子より鳥ノ子餅一重、交肴一籠。田村氏より鮓一重。佐々木祐寛より鴨一番籠入。南条愛子より小杉一束、縮緬袖切。

*盤田帯(磐田帯)

一月十七日 火曜 晴朗。有客。

朝六時起。課行如例。午下、詣閑院宮。教授シテ去。詣峰氏而帰。帰途訪姉邸而帰。米倉山子入塾ス。

(来客) 小西歌子来。

美濃青木氏より守口漬三樽、松茸漬二樽。小西氏より海苔甘帖入一箱、菓子一箱。米倉氏より**塩から**、海老。

*塩から(塩辛)

一月十八日 水曜 晴。

朝六時起。課行如例。朝十一時迄教授ス、時俄然微恙ニテ臥。暫時にして快然タリ。半日休業ス。

一月十九日 木曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下、訪田村氏。長子及増子ト同シク宗東殿二年詞ニ参リ、拳家之悦無究。かるた或ハギョカント云遊ひをなす。源平の戦也。随分面白き物也。畢而祝酒ヲ戴。四時帰。岩浪稲子、熊本え趣かれ候ニ付、暇乞ニ来ル。送別の哥を贈ル。

わか霊の君にそひつゝゆくものをなとかハをしき此わかれかな

此夕、万里家ニテ年酒ヲ設ラル。余及愛治郎、千久、桃子ト同行。夜十時帰。

北白川宮吉野こうより奉書三束。

*無究(無極) *かるた(カルタ) *趣かれ(赴かれ)

一月二十日 金曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下三時、出門。余、千久子、桃子、安田輝子ト同シク横綱安田氏忠招。始、待合ニ通り暫時休憩。やかて主人案内、席ニ通ル。此席也、田安家、名席也。余、上客。次、千久、桃子。輝子、詰。床、光広短冊都思ふ伊世や尾張の哥。濃茶茶碗海月ニ添物と云。やかて会席調理、皆遍口結構也。済て中立。夫ヨリ席ニ入、床花白わひ介、三ツまた也。濃茶済て広間にて薄茶。後宴ニ今介落語三席、済て飲ヲ尽して帰る。時十一時也。

*白わひ介(白侘助) *三ツまた(三極) *今介(今輔)

一月廿一日 土曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。

一月廿二日 日曜 晴。有客。

朝五時起。課行如例。七時、遣車、往新橋停車場、北白川宮御息所、熊本ニ被赴、送別ス。稲子も同行也。八時発車也。済テ宝前ニ参詣シテ帰。午後三時出門。余、栄子ヲ拉テ、岩倉家ニ被招。九条恵子、同範子、同節子、御客也。競馬香ニ番。済テ晚餐ヲ饗せらル。夜七時帰。此日、鳥越火。

(来客) 鷺田菊江裁縫教員ニ雇入ル、辻愛子兄嫁八重子来、諸葛益子来、池田亥之助及養子来。諸葛より鶏卵一箱。辻八重子よりカステイラ一箱。池田氏より鶏卵一箱、紅絹(〇)一疋。木津願泉寺ヨリ糞漬かふら一樽。藤袴内侍より鶏卵一箱、菓子一箱。

受方摘要 佐久間隆より一円。

*かふら(蕪)

一月廿三日 月曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下揮毫。

(来客) 山口稲子来。

森永琴子、海苔五帖入一箱。

一月廿四日 火曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下、詣閑院宮、教授して去。姉邸ニ寄。已而帰。

(来客) 中島千重子来。

閑院宮より鶏卵。中島千重より、菓子一箱。

一月廿五日 水曜 朝八時より雪降出、晡時迄、積二寸斗。夜、月明。有客。

朝六時起。課行如例。此日、戸田、岩倉、稽古休。

(来客) 中村太郎、遠藤義為。

木津唯専寺より、氷豆腐百箇、菓子、昆布一箱。遠藤氏より幽仙縮緬切地、同帯あけ、真綿。

*幽仙縮緬(友禅縮緬) *帯あけ(帯揚げ)

一月廿六日 木曜 晴朗。朝廿八度、午後六十度。有客。

朝六時起。課行如例。午下、法帖揮毫。四時迄不放筆。

遠藤氏より守口漬一樽。

弘方摘要 山田氏え一円。

(二月廿七、廿八日、日記欠)

一月廿九日 日曜 雪、積一尺。無客。

朝六時起。雪降出、終日降通し。夕景凡五寸計積。課行如例。岩浪稻子電報来、昨日午後二時無事着、熊本より。

一月三十日 月曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。終日揮毫ス。三条資君様より書至。

(来客) 葛西十郎、小木曾源右衛門。

山崎丑栄より蒸菓子一箱。

一月三十一日 火曜 晴。

朝六時起。課行如例。午下、閑院宮ニ詣シ、教授シテ去。帰途、訪蒲生氏、閑談、暫時ニシテ帰ル。

反物七反。

弘方摘要 神代費、三円。

(一月會計、記載ナシ)

(二月)

二月一日 水曜 晴。有客。
朝五時起。課行如例。十一時、教長来。午下早々戸田家、岩倉家ニテ教授シテ、三条家ニ公
美公ノ病ヲ訪テ帰。

(来客) 義為、葛西也。

二月二日 木曜 晴。有客。

朝五時起。課行如例。吉見捨子帰校ス。御寺御所斎藤仁子、木津唯泉寺え寄書。

(来客) 遠藤義為、松の鉄千代。

松野氏より素麦一重、あめ一重。吉見より栗餅一重。

二月三日 金曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。

(来客) 遠藤義為、中村文子、伊藤子之松、及其娘徳此日ヨリ雇入ル。

中村文子より、カル、ス煎餅一罐。

*松の鉄千代(松野鉄千代) *素麦(蕎麦)

二月四日 土曜 晴。有客。

朝六時起。課行如例。午下、愛治郎、泰、余ト同シク浅草観音え神代ヲ勤ム。四時帰。岩浪
稻子書至。

(来客) 九条家ヨリ菅子来、恵子君教授願来ル。又徳川富子より教授願来ル。

九条家より、みかん一箱。

弘方摘要 浅草行小費、三十銭。羅紗蔽衣、九円廿銭。

二月五日 日曜 晴、夜豪雨。有客。

朝六時起。課行如例。終日揮毫ス。

(来客) 濃州義為、重平、葛西、重威来。

二月六日 月曜 晴、午後三時頃より雨。有客。

朝六時起。課行如例。夜(以下、記述ナシ)

(来客) 吉村幸柯、若林来。

辻愛子より菓子一箱。

二月七日 火曜 晴、有客。

朝六時起。課行如例。午下早々、閑院宮え御教授申上。畢而九条殿え恵子君、書画の教授始
ヲナス。五時去。此朝、斎藤仁子来。片岡君子、其妹拉シテ来。妹入門ス。夜、伊藤子之松

来。

斎藤仁子より蒸菓子一折。前田梅子より鶏卵一折。片岡君子より、みかん一箱。井上市兵衛よりせんへい一鐘。原善三郎より、干柿一箱。

弘方摘要 岩崎え利子、百五十円渡ス。

*せんへい(煎餅)

二月八日 水曜 晴、曇、夜雪。有客。

朝五時起。課行如例。井上氏、五時去。午下早々戸田氏及岩倉氏教授して、帰途、宝前え参詣ス。五時頃帰。時、遠藤義為、井上市兵衛来。

弘方摘要 井上氏え一円。

二月九日 木曜 晴天。有客。

朝六時起。課行如例。

(来客) 遠藤重平来、井上氏去。

二月十日 金曜 晴。

朝六時起。課行如例。午下、余、泰、栄、鶴ヲ拉テ、姉邸ヲ訪。五時帰。宮原六之助書至。ヲチガイニ金三十円入ル。鼻紙入ニ小遣十円ト銀貨九十銭入ル。

*ヲチガイ(打飼)

二月十一日 土曜 晴。

朝六時起。課行如例。午下、尾州侯ニ行、富子君ノ書教授ス。畢而、被饗酒飯。五時帰。菊之図、彩色芙蓉之図、半切若松之図、果物之図、全紙秋圃之図、五枚、斎藤仁子え借ス。

徳川富子より帛紗、半襟二懸、帯々。

受方摘要 徳川氏より三円。

*借ス(貸ス)

二月十二日 日曜 晴、有風。朝日出、二十五度。

早起。課業如例。終日揮毫ス。

此日、天下茶安養寺高島氏より書至。直ニ返書ス。

*天下茶(天下茶屋)

二月十三日 月曜 晴、風甚。二十五度。

早起。課業如例。午下、訪田村氏、長子、増子ト同シク、宗家東殿ニ行。安井氏ノ説教ヲ聴聞ス。晡時去。田村氏ニテ晚餐ヲ喫シテ帰。石井初子帰塾ス。

田村氏ヨリ洋菓子一罐。中山正子より薩摩芋。

二月十四日 火曜 晴。有客。日出、二十五度。硯池当火、筆先皆氷。筆洗、用熱湯。早起。課行如例。午下、閑院宮ニ詣シ、教授シテ去。九条家より断来。直ニ姉邸ヲ訪テ帰。此日、神奈川菊女来。成田栄子、鐘詰物、松の寿し。受方摘要 石井初子より五円。

二月十五日 水曜 晴。有客。

早起。課行如例。午下、戸田氏へ行、教授シテ、御宝前え参詣ス。岩倉氏御差支ニテ不参ス。二時後帰。此時、松の母来。

松野氏より鶏卵一箱。

弘方摘要 宝前、二十銭。

*松の母(松野母)

二月十六日 木曜 晴、風、夕止。有客。

早起。課行如例。午下、揮毫。晡時、訪姉邸。入夜帰。故近藤真鋤訥軒遺稿新著、遺族近藤愿吉ヨリ贈来。

(来客) 三浦清吉来。

二月十七日 金曜 旧一月一日 朝日出、殊晴朗。已而雪少、已而止。午後ヨリ雨。入夜、

豪雨切。地震、又有火。

早起。天地四方拝、及課行如例。晡時、重威及吉村夫婦来。愛治郎、誕生日祝宴ヲ張。頗盛。皆十時去。

*切(しきり)

二月十八日 土曜 晴、四時頃曇。有客。

早起。課行如例。午下、沢家ニ行。窈子、産後ノ病ヲ訪。先々快方也。暫時にして三条内府公廟ニ参詣ス。夫ヨリ宮城え藤袴殿局え参ル。御怪我ヲ訪。大イニ快方、漸御食事、右の手ヲ被用。御八ツ御食事ヲ餐シテ四時過去。

(来客) 粟生光明寺僧二人及蒲生先生、伊藤子之松余不在中来。

光明寺より御盆二組。蒲生氏より鶏卵一箱。

二月十九日 日曜 晴、殊暖。有客。

早起。課行如例。終日揮毫ス。石神井村より弘来。

(来客) 牛込幸母、及重威来。

牛込氏ヨリ鶏卵一箱。高橋氏ヨリ菓子一箱。

二月二十日 月曜 晴。

早起。課行如例。午下揮毫。此朝、弘児石神井村え帰ル。

二月廿一日 火曜 晴。有客。

早起。課行如例。朝九時出門。芝離宮え参り、日本婦人会ヨリ米國博覧会出品物陳列ニ付參觀ス。婦人画其外、制作物ノミ觀。畢而毛利公爵ヲ訪フ。夫人安子君ニ面談シテ、昼餐ヲ喫ス。已而去。宝前ニ参詣ス。而帰。晡時、余、桃子ト同シク姉邸ヲ訪テ帰。

(来客) 角田栄子。

角田栄子ヨリ鶏卵及齒磨一箱。中村敬子ヨリ生湯葉。

受方摘要 若松典侍ヨリ七百疋。

二月廿二日 水曜 晴、有風。

早起。課行如例。午下早々戸田氏教授シテ、岩倉邸ニ教授シテ閑院宮ニ詣ス。暫時閑談シテ去。

宗重正伯爵ヨリ対州塩ブリ一尾。

二月廿三日 木曜 晴。

早起。課行如例。午下揮毫ス。

二月廿四日 金曜 晴。有客。

早起。課行如例。午下、蒲門忘年会之図、揮毫ス。

(来客) 佐藤佐七来。

佐藤氏ヨリ松魚券二円。石神井村豊田バ、より鶏卵。

*バ、(婆)

二月廿五日 土曜 晴。有客。

早起。課行如例。終日揮毫ス。山高氏紹介武井氏古希之画絹本、富貴松梅之図、揮毫ス。晚、訪姉邸。夜帰。盤井孝子退塾ス。

(来客) 閑院宮御使峰親彦来。伊藤子之松。

*盤井孝子(磐井孝子)

二月廿六日 日曜 晴。

早起。課行如例。終日、博覧会出品扇面揮毫ス。押元鏡子死去訃音来。

日下静子より八橋織(〇)一反。園頼子より白酒三瓶。山崎丑栄より松魚。

二月廿七日 月曜 朝曇、午後雪降出、入夜三寸斗積。

早起。課行如例。午下、扇面揮毫ス。此日、大裏雛餅付ル。

佐野信より蒸菓子一箱。

*大裏雛(内裏雛)

二月廿八日 火曜 朝風雪、午下止、晴。

早起。課行如例。此日、扇面四枚揮毫ス。

(二月会計、記載ナシ)

(三月)

三月一日 水曜 晴、有風。有客。

早起。課行如例。午前、教長来。午下早々戸田邸及岩倉邸ニ教授シテ、閑院宮邸ニ詣ス。御息所ニ謁シテ帰。帰途、重威ヲ問。晡時帰。

(来客) 高橋卷之祐。

高橋氏より菓子一箱。戸田氏より蜂屋柿一箱。

三月二日 木曜 晴。有客。

早起。課行如例。午下、詣閑院宮。御稽古シテ去。

弘方摘要 山田氏え寄進、五十円。内十円、愛治郎出ス。

(来客) 田中玄蕃、高橋氏来。

三月三日 金曜 晴、殊暖。

早起。課行如例。朝九時三十分、乗汽車、横浜訪茂木氏。喫昼餐而原松山別荘ヲ訪、又山別荘、逢細君而弁天通原富太郎病ヲ訪。同氏、尊ヲ離テ来、二時間位閑談ス。病覺快。去而訪西村、喜三郎氏ト面晤ス。暫時ニシテ、四時汽車ニテ帰。新橋着、有楽亭ニテ森竹時え、静江ニ逢。洋食之饗応ニ逢テ帰。宅ニ雛祭ニテ来客者、重威初、万里為、栄、吉村三人、若林も来。祝宴殊盛。十一時過、皆帰。

万里小路より、イリく一重。

弘方摘要 横浜行入用、三円十銭。

*吉村(芳村)

三月四日 土曜 雨、終日。有客。

早起。課行如例。終日揮毫ス。尾州徳川良子入門。渡辺玉子、習字稽古始ム。

(来客) 栃木県中根明来。さゝ木豊来。

さゝ木豊子より、洋酒三瓶。

*さゝ木豊(佐々木豊) *さゝ木豊子(佐々木豊子)

三月五日 日曜 朝晴、午下雨。已而霽風。有客。

早起。課行如例。終日、法帖揮毫ス。此日、教長山田氏え依頼ヲ解ク。

(来客) 松野鉄千代、来。

渡辺玉子より、するめ、函館干アシ三箱。長沢氏より干柿一箱。森永時えより房州鮭、ジネンジャウ。松野氏より、すもし一重。三条家より御遺稿梨のかたえ新刻、御せんへい二袋。

*干アシ(干鱈) *ジネンジャウ(自然薯) *せんへい(煎餅)

三月六日 月曜 晴、風。有客。

早起。課行如例。午下、法帖揮毫ス。堀田まき子入学。星野やす稽古始。

(来客) 山本鶴子来。

大塚陽子母よりせんへい一袋。

受方摘要 白井藤太郎より三円。

*せんへい(煎餅)

三月七日 火曜 晴、有客。

早起。課行如例。朝ヨリ揮毫、午下早々閑院宮ニ参リ、御稽古上ル。畢、小松宮八重子君、被為成、閑談ス。実ニ我校御入塾中之心地シテ、楽無究。五時去。姉邸ヲ詣、晡時帰。入塾願人、浅田幸、其母、其妹来。

池田録子より玉子、大豆。

*無究(無極) *池田録子(池田祿子)

三月八日 水曜 晴、有風。有客。

早起。課行如例。午下、戸田邸二行、孝子、幸子教授ス。米子、所勞ニテ休。夫ヨリ岩倉邸二行。教授して帰。

(来客) 伊藤子之松、綱公来。

弘方摘要 貧民え三十銭、施与ス。

三月九日 木曜 晴。

早起。課行如例。朝ヨリ揮毫ス。晡時、訪姉邸而帰。海田金子退校ス。海田金子より砂糖漬一箱。桜井時子より菓子一箱。

弘方摘要 大塚陽子え一円。

三月十日 金曜 晴、風。有客。

早起。課行如例。午下、田村長子、増子来。

田村氏より繻珍かた入。

*かた入(肩入)

三月十一日 土曜 晴。有客。

早起。課行如例。午下、徳川家二行、教授シテ去。観世音ニ参詣シテ帰。今井孫一郎来。折

田平内妻及其娘、親子入塾ス。

今井氏より越のみぞれ一箱。折田氏より蒸菓子一箱。

弘方摘要 浅草買物、廿五銭。

三月十二日 日曜 晴朗。有客。

早起。課行如例。有約、朝九時出門。田畑田村氏二行。此日、看梅之御来客、伏見宮、閑院

宮殿下ヲ始メ奉り、馬之連中十七、八名也。園遊会、園中茶亭ヲ設ケ、煮売店、天婦羅店立

食。畢而坐敷ニテ席上、書画揮毫ス。畢而如燕演史二席、後席、円遊落語。酒譚中、校書連

ハ福助、豊也。頗盛会。四時過済、六時帰。浅田幸入塾ス。

(来客) 浦春暉妻来。

浦氏ヨリ白縮緬(〇)一反、干菓子一箱。浅田幸子より鶏卵一箱。森永琴より岩おこし。

*田畑(田端) *岩おこし(岩粗糎)

三月十三日 月曜 晴。有客。

早起。課行如例。今日より書試験執行ス。午下三時頃より、余、桃子ト同伴、小松若宮邸ニ

詣。御息所より御招ニ預り、種々御咄し或ハ御慰之事も有之、御合物戴、又晚餐被饗、八時

三十分去。浅田幸母来。辻愛子退校。

小松宮御息所より白秋田(〇)一反。

受方摘要 小松宮より千疋。

三月十四日 火曜 晴。有客。

早起。課行如例。午下、閑院宮ニ詣シ、教授シテ九条家ニ詣シ、又教授シテ三条邸ニ詣、資

君様ニ拝謁シ、御内談、移時、晡時帰。浦早苗母来。

閑院宮より銅花瓶一对箱入。田村氏より絹半カチ六枚箱入。閑院様より御すもし一重。

受方摘要 田村氏より十円。

*絹半カチ(絹ハンカチ)

三月十五日 水曜 曇、午下雨、已而霽、晴天。有客。

早起。課行如例。此朝、浦氏細君来、一面晤ス。早苗子縁段ニ付、種々内情咄ニ付、態々紀州ヨリ東上致され候也。午下、戸田家ニ行、教授シテ田村氏ニ行、岩倉邸ニ行、教授して山本安治郎氏ニ行、浦早苗の縁段申入ル。

(来客) 山本久子来。

山本久子より菓子一箱。万里小路より、すもし一箱。

*縁段(縁談) *縁段(縁談)

三月十六日 木曜 晴。有客。

早起。課行如例。終日揮毫ス。

(来客) 浦春暉妻来。

手塚義三郎より、雲丹一罐。

三月十七日 金曜 晴天。

早起。課行如例。此日、書試験済。終日画、法帖揮毫ス。

三月十八日 土曜 晴、風。

早起。課業如例。終日揮毫ス。

永富鏗子より鶏卵一箱。三浦常子より鶏卵一箱。

受方摘要 三浦常子より一円。

三月十九日 日曜

早起。課行如例。朝十時、余、愛治郎、千久、桃子、泰、栄、万里為子、伊吹竜江、八人ト同シク、揚場丸屋ニ装舟、直ニ棹さして木下川看梅之行也。天晴朗、小赤壁之春江、**得もい**はれぬ景色。浪静々にして如鏡。両国より横川に入、柳島にて天満宮に参詣し、社内之梅花も見つゝ臥竜梅ニ行。梅客群衆、雑沓**無究**。花稍開、未十分。又歩、吾妻神社ニ詣て乗船行。引潮ニテ舟行難シト云。余、愛治郎、桃子、為子、竜江、五人歩、木下川ニ行。觀梅之客絡繹、如織。**江**東梅ヲ觀去。漸木下川ニ至。時、船着。皆同しく梅園ニ行。梅開五分位。暫時弄花、休憩、又乗船。夕陽又偏妙。九時水道橋ニ着。皆無事帰宅ス。朝、浦氏妻、暇乞来。中山正子より蒲鋒五枚。辻信之より鶏卵一箱。
*得もいはれぬ(得も言はれぬ) *無究(無極)

三月二十日 月曜 曇。有客。

早起。課行如例。終日揮毫ス。

(来客) 山本鶴子来。

弘方摘要 五軒町宝前え五円、奉納ス。

三月廿一日 火曜 晴。

早起。課行如例。朝、角田栄子来。中山孝九家扶来。午下、南条氏え行。愛子、去十五日男子分婉、即死去のよしに二付、見舞二行。夫より九条家え詣し、教授して、帰途姉邸ヲ訪。分社靈遷ニ付参る。愛治郎先在。入夜帰。留守中、宇都宮高子来。

御寺御所より菓子昆布みつから一箱。宇都宮より菓子一箱。森永時えより菓子一箱。

*よしに(二)(衍)

三月廿二日 水曜 雨、又晴。

早起。課行如例。午下、戸田家、田村氏え行而帰。此日、哥の試験済。松平武脩母堂、昨廿一日死去訃音来。

三月廿三日 木曜 雨。

早起。課行如例。画ノ試験、執行ス。

田村氏ヨリ、すもし一重。安田氏、おはき、奥始塾一同え。

*おはき(お萩)

三月廿四日 金曜 朝晴、午下又雨。

早起。課行如例。画ノ試験畢。万里小路通房来。松平武脩母堂香儀、金千疋ヲ供ス。

三月廿五日 土曜 晴。

早起。課業如例。試験全畢。塾生、過半帰宅ス。午下、塾生ヲ拉テ近野ニ土筆摘ス。伝通院山下辺、花盛、未筆頭ヲ出ス斗也。然ルに忽チ籠ニ滿。夫より氷川神社辺、逍遙カス。所々梅花紅々白々盛開。春色佳景可愛。四時帰。夜、五軒町ニ行テ帰。伊藤子之松、夜玉枝来。横浜茂木栄子、男子分婉報来。昨廿四日午前七時也。

跡見玉枝、挿子。

弘方摘要 摘草小遣、廿錢。同散錢、五錢。

三月廿六日 日曜 晴。

早起。課行如例。此日、応田村氏招、歌舞妓坐劇ヲ観ル。余、愛治郎、千久子、桃子、同道。田村氏長子、増子、利久仁、原田細君、桜井細君、渡辺細君と也。始、東鑑拝賀卷、次、鏡獅子、次、揚卷助六也。劇場立錐之地もなく、実ニ可驚也。演芸、皆見所多き芸也。八時全畢。食事済十時帰。

三月廿七日 月曜 晴。有客。

早起。課行如例。終日揮毫ス。子爵吉川経健使新居紹一なる者、奥方真佐子文もたらせ来、

習字入門願出ル。

受方摘要 吉川真佐子、五円。

三月廿八日 火曜 晴。有客。

早起。課行如例。朝ヨリ揮毫ス。午下一時ヨリ、余、千久子、桃子ト同しく貴婦人会ニ参詣ス。久々御法主御東上ニテ御親教聴聞ス。四時全畢而帰。不在中、佐野信子来。夜、下谷火。藤堂家類焼ス。

佐野信子より御すもし二重。京都界屋清兵衛より若狭一塩物。松野篤義より亡妻一周年二付、茶一罐、饅頭。

三月廿九日 水曜 雨。

早起。課行如例。午下、戸田氏、田村氏、岩倉邸ニ教授して帰。

三月三十日 木曜 晴、月尤清。

早起。課行如例。午下、同桃子、出門、訪佐野信子。喜甚、種々饗応シテ、談移時、四時過去テ、万里小路氏ヲ訪テ、又姉邸ニ行。入夜、月如昼。散歩シテ帰。夜十時臥。一時、吉井氏呼来、下婢糸、病危篤ト云。直ニ起テ行。もはや臨終、覚語シテ只如來の御迎ひを待のみ也。如眠ニシテ一時二十分遂ニ往生ス。此者ハ、余ノ家ニ来テより十有七年間、よく奉公シテ、只々主人の恩を難有しとて、日々其事のみ言つゝけ也。二月の始めより老病ニテ床ニ就、寐たり起たりして、外之下婢共もかはるゝよくゝ世話して看護も行とゞき実ニ仕合の人と云へし。日頃之覚語のよき故也。

*覚語(悟) *覚語(悟)

三月三十一日 金曜 晴。

早起。課行如例。午下二時、糸死体、光園寺ニ下ケ埋葬ス。葬式モ賑々敷事也。六時全畢。

弘方摘要 繻珍帯地、十二円。紅絹一疋、四円八十銭。

*光園寺(光円寺)

(三月会計、記載ナシ)

(四月)

四月一日 土曜 晴。

早起。課行如例。午下、余、乗一時汽車、訪横浜茂木氏、栄子分婉之祝詞申伸ル。産婦も大イニ壮健、良太郎児、実ニ立派之児也。友染産衣及松魚ヲ祝ふ。已にして四時之汽車に乘し

て帰。此日、岩倉梭子殿より屏風一双来。

横浜原氏ヨリ、本服祝、鯉節一箱、赤飯二重。

弘方摘要 汽車代及車代、九十銭。

*友染産衣(友禪産衣)

四月二日 日曜 終日雨、夜豪雨、復盆、可驚。有客。

早起。課行如例。朝七時ヨリ、愛治郎、泰、栄、鶴ノ四人連にて、石神井村豊田へ行。午下六時、摘得土筆、帰。横浜渡辺玉子来。其娘入門願来。池田禄子、男子分婉祝、八丈島半反ヲ贈ル。

渡辺氏より菓子一箱、真綿、帶上げ一筋。

*復盆(覆盆) *八丈島(八丈縞)

四月三日 月曜 晴朗。有客。七十八度ニ及フ。

早起。課行如例。終日揮毫ス。塾生、続々帰校ス。万里小路直房来。久米節子、男子分婉報来。二日午後十時也。

万里小路より、いなり酢二重。牛込幸子より艸の餅一重。園頼子より艸ノイシノ一重。毛利万子より鶏卵一箱。玉椿内侍より白羽二重袖切、煙草入、御杯。森永辰江より鶏卵一箱。中山正子より土筆。

*いなり酢(いなり鮓)

四月四日 火曜 晴雨、不定。

早起。課業如例。試験後、以此日為授業始。松平鱗子、沢村鶴子、山内節子、跡見初子、跡見玉枝、五人入門ス。春田初子、松本竹子退校ス。遠藤重平、穂積八束来。午下、詣閑院宮、又九条恵子夫人教授ス。一位様拝謁、暫時談話して去。遠藤氏より菓子一箱。石井安子より菓子一箱。

受方摘要 松本竹子より五百疋。跡見玉枝より五十銭。

四月五日 水曜 晴、晡時ヨリ雨。

早起。課行如例。午下、戸田邸ニ教授シテ去。田村氏ヲ訪。談話移時、三時帰。角田真平来。

植野子爵使来。長谷川貞子入門。庭桜、始花開。

三好長子より干菓子一箱。石神井村よしより雉子一羽。

*植(野(ママ))子

四月六日 木曜 朝雨、已而晴。

早起。課行如例。朝、池水より白雲登る事、実に珍らしく、樹木など見えぬ斗に成て、何かの前兆かとおもはねぬ。大井氏富枝入門ス。此日、糸女之初七日にて、仏事済。遺物も沢山

にて、次の者皆々分与ル。松野鉄千代来ル。遂一宿ス。

長谷川貞子より鶏卵一箱。松野鉄千代より竹の子。折田親子より干瓢沢山。

*おもはねぬ(おもはれぬ) *干瓢(干瓢)

四月七日 金曜 晴。

早起。課行如例。午下、汲泉会招待状出ス。浦春暉及妻雪子書至。午下二時頃、俄然大風雨、雷鳴。已而晴、如拭。福田嘉子、長沢ます、伊藤子之松来。

田村増子より肩懸箱入。福田嘉子より菓子及包物。長沢増より真綿二十枚。伊藤氏より菓子一箱。

四月八日 土曜 晴。

早起。課行如例。午下、往徳川邸、良子、富子、教授シテ、向島松平武脩子二行。伸悔テ去。墨堤花始開。花見人雑沓、可驚。帰途、久米氏ヲ訪。赤子モ大イニ壮健、先安神。喫晚餐而帰。寺田福寿来。

寺田氏より越の雪一箱。久米節より帶留。福田嘉子より生シイ茸。

受方摘要 徳川良子より三円。

*生シイ茸(生椎茸)

四月九日 日曜

早起。課行如例。朝九時真浄寺ヲ訪。本堂欄間揮毫之依頼ニ付、実場ヲ見ル。已而、帰途東台之桜花ヲ観ル。先五分咲位、所々之春景実妙。看花之人、如織。十二時頃帰。此日、誕生日ニ付、園遊会ヲ執事、庭中紅白幕ヲ帳、樹梢紅灯ヲ掲ケ、茶店ヲ設ケ、桜花かんさし、菓子、みかん等ヲ出し、午後四時頃、赤飯、にしめの御弁当ヲ饗ス。仁科駒女踊数番、吉村孝左衛門同妻菊、若林なと来、添興。夜九時全畢。実賑々敷事、盛大々々。

寺田福寿よりそは十せいろ。広田千代より、鶏卵一箱。

*帳(張) *かんさし(簪) *にしめ(煮染) *そは(蕎麦) *せいろ(蒸籠)

四月十日 月曜 雨。

早起。課行如例。此日、宮城姉小路良子殿、御局え可参筈、雨中ニテ御断申上候。中山高磨家扶来。佐野信子、斎藤知香子入塾願来。

中山氏より鶏卵一箱。姉小路良子殿より改良あん一瓶。佐野信子より菓子一箱。

四月十一日 火曜 此日、天晴朗。

早起。課行如例。朝、斎藤智賀子入塾、其母善子来。午下、余、栄子、園頼子、中山正子、森永辰江五人ヲ拉テ、宮城姉小路良子殿御局ニ上ル。暫時ニシテ良子殿御下りにて面晤ス。御合の物いたゞき、御本丸ニ土筆摘。実ニ続々地ニ布、其楽無究。暫時之間、二籠ニ充滿ス。

四方桜花爛熳、実絶景。四時御局ニ帰ル。皇后宮、御目見ヲ給ル。夫ヨリ紅葉山拝見仰付られ、新樹典侍様、小菊典侍様、其外呉服所女官等、御案内にて、桜花実満開、極楽如世界。皆々皇后宮より縞縮緬一反、御鼻紙入、銀の平打かんさし等拝領ス。

皇后宮、御菓子。良子殿より、白羽二重、急須、茶碗。原善一郎、初誕生餅。斎藤ちか子より、交肴、鯛三尾、ひら目、海老、実美事也。蒸菓子一箱、京御召一反。同桃子、糸織一疋。愛次郎、千久、緋の板一一反。五家宝、十包。

*かんさし(簪) *ひら目(平目)

四月十二日 水曜 晴、午下五時頃より雨。

早起。課行如例。午下、岩倉家二行、直ニ帰ル。所々桜花、実満開、遠近白雲の如し。綏国神社之花を見テ、江戸川堤の花を見る。実に一刻千金の如し。花を見つゝ家ニ帰ル。直ニ佐野隠居ニ行。斎藤善子ト同道。五軒町御宝前ニ詣ス。時、雨。帰路又佐野氏え寄、晚餐ヲ喫して帰。田中幾子、其母同道来。

田中幾子より煮茶一罐、絹はんかち二枚。

*綏国神社(★)(立+青) 国神社) *煮茶(煎茶) *絹はんかち(絹ハンカチ)

四月十三日 木曜 晴朗。

早起。課行如例。午下早々、往伝通院、石山延子葬式ニ会ス。光円寺中ニ埋葬せらる。五時全畢而帰ル。清田雪子来。石山家え香料金千疋及蒸菓子一箱。此夜八時頃ヨリ吉原大火。伊吹竜江より、みかん一箱。清田雪子より鶏卵一箱。

四月十四日 金曜 晴。

早起。課行如例。斎藤善子来。井上吉次来。午下六時頃より、余、桃子ト同しく、上野の花を見る。落花の風に散るさま其妙なる事、密雪中ニ行か如し、しら雲のまに／＼人の行か如し。夕桜、殊ニ妙。実に花にあくかれて行も得やらぬ程也。已而帰。

斎藤善子より、カステイラ一箱。井上吉次より風呂敷。中山勝子より焼かちん一文庫。

四月十五日 土曜 天晴朗。

早起。課行如例。伊藤幾三郎、歌子、定子来。園中吉野桜、皆落花生。夜、遠藤重平、葛西十郎、外某来。

伊藤氏ヨリ手織七子一反、花色絹一反。遠藤氏より鶏卵一箱。

四月十六日 日曜

朝五時起。入湯、化粧ニよき着物等着替ル。天陰、雨降出し、昼飯十一時喫畢、十二時、馬車二頭立箱馬車五輛来、塾生残り居ル者ト余始廿七人、乗馬車二、紅葉館ニ行。此時、雨止。汲泉会員続々来集ス。二時、卒業証書授与式ヲ執行ス。始、余祝辞ヲ伸、次、証書ヲ授ク。

卒業生十六人也。佐藤利尾子生徒総代、答辞ヲ朗読ス。次、加茂玉江、英語演舌ス。畢而汲泉会、踊舞三番及落語二番。畢而四時食事。五時半散。此日会者、百四十五人也。頗盛会。点灯頃、帰校ス。夜、雨。

池田禄子男子宮参り二付、鶏卵一箱、赤飯一重。

四月十七日 月曜 晴朗。

朝六時起。北川貞子父来。北川貞子退校ス。生徒一同え菓子折数八十来。高梨兼子来。此日、一号、二号、三号、五号、竹林え写真撮影二行而帰。

有栖川宮より鶏卵二百箇入一箱。北川貞子より、ちゝみ五反。下婢さと母より菓子二袋。高梨兼子より菓子一箱。

受方摘要 有栖川宮、五円。

*ちゝみ(縮)

四月十八日 火曜 晴朗。

朝六時起。課行如例。午下、閑院宮ニ参り、御稽古上テ帰。広田千代、其母同道、西京旅行之暇乞ニ来ル。

加茂玉江より鶏卵一箱。斎藤ちか子より蒸菓子一箱、蒲鉾大二枚。広田千代子より菓子一箱、糸織二反。閑院宮より、すもし一箱。

受方摘要 佐藤利尾子より、五円。広田千代子より、五円。

四月十九日 水曜 晴。

早起。課行如例。午下揮毫ス。佐藤利尾子、其母病氣ニ付、帰国ス。弘方摘要 御備え五十錢。

四月二十日 木曜 晴。

早起。課行如例。此日、絹本豎物鍾馗揮毫成。久米男児民十郎、初節句之祝ニ贈ル。吉田庸子退校ス。酒卷千世子入塾ス。晡時、余、愛、千久ト同しく、五軒町ニ行テ帰。

吉田庸子より菓子一箱、紋絹一反。酒卷氏より菓子一箱。

*晡時(晡時)

四月廿一日 金曜 雨。

早起。課行如例。午下早々小松若宮邸ニ参り、八重君書画稽古シテ、晚餐ヲ喫シテ帰。南条氏来。

南条氏より干菓子一箱。

弘方摘要 車夫え心付、三十五錢。

四月廿二日 土曜 晴。

早起。課行如例。晡時、吉村孝梅及孝左衛門、若林来。此日、中村元嘉氏来。茂木良太郎宮参り二付、鳥の子餅一箱、松魚一台。

四月廿三日 日曜 朝、細雨、午下、雨止。

早起。課行如例。朝、細川熊江、祖母曾孫ヲ拉テ来。午下一時より、余、桃子、栄子ヲ拉テ乗馬車、公爵毛利元徳公之応招テ園遊会ニ会ス。庭園、躑躅不十分トいへ共、新緑中所々桜花咲乱れ、所々茶店アリ、薄茶店アリ、陸軍楽隊奏樂、或余興、しんこの曲とり、或如燕、貞水、講談等アリ。立食饗応アリ。六時半帰。

細川氏ヨリ筍一籠。毛利氏ヨリ紙包物、紋縮緬袖切、硯、文鎮。

*しんこ(糝粉)

四月廿四日 月曜 晴、四時頃雨、夜十一時頃より雷鳴益嚴敷、大風雨及雹降。此日、拾ヲ着ス。

早起。課行如例。此日、増村鹿子入塾。楨野入塾。後藤花子母来。花子、過日星野氏ニ嫁ス。余、千久子、暉子、竜江と同じく貴婦人会ニ会ス。御法主御親教及奥方栢子様ノ演古も有。南条、渥美法話有。頗盛大也。

齋藤千賀子よりきうひ一箱。森竹時得より鶏卵一箱。後藤細君より菓子一箱。楨野氏より鶏卵一箱。下婢里女より筍五本。

*きうひ(求肥)

四月廿五日 火曜 終日雨又晴、風不止。

早起。課行如例。朝晴又雷鳴暴風雨ニテ雹降、実ニ可驚。英教員中川氏一人来、生徒児島其外二、三人来のみ。依而放業。

稲垣銑子より、すもし三重、国産きうひ一箱。閑院宮より早蕨。

*きうひ(求肥)

四月廿六日 水曜 晴朗。

早起。課行如例。此日、午下、戸田邸ニ稽古して、直ニ後樂園ニ女子共立育児会ニ会ス。桃子も来ル。園中新緑中所々遅桜、山吹、つしなと咲みちて快絶也。已ニして有栖川君御息所総裁加らせられる。会員之多き、実ニ雑沓不可言。中途にして帰る。新場カ、小児連テ来ル。伊吹義八郎来。五軒町重孝、初節句ニ付、鎧一具ヲ祝フ。

新場カ、より鶏一羽、あられ一重、八ツ頭。横浜原氏より赤飯一重。戸田氏より美の松風鐘詰。増村鹿子より煮茶一袋。

受方摘要 伊吹氏ヨリ、二円。

*つし(躑躅)

*カ、(嚙)

*カ、(嚙)

*美の(美濃)

*煮茶(煎茶)

四月廿七日 木曜 晴。

早起。課行如例。午下、岩倉邸二稽古して、三条邸ニ参り、資君様ニ拝謁。暫時閑談して帰ル。時、晡時也。伊藤子之松来。時、重威来。夜十時皆去。伊吹竜江退校ス。大坂之人塚口新八男、学文修行之為依頼シ来ル。飯田弁治郎及岩田末次郎、外ニ福岡惇も来ル。大坂飯田氏ヨリ岩おこし二箱。

*岩おこし(岩炬妝)

四月廿八日 金曜 晴。

早起。課行如例。此日、尺八寸巾絹本豎物鍾馗揮毫成。横浜茂木良太郎初節句ニ付、右の画祝ふ。愛治郎持参ス。長野富貴子来。長野ふきより鶏卵一箱。

四月廿九日 土曜 晴。

早起。課行如例。五月人形裝飾ス。山口梅子来。山口梅子より白縮緬一反、洋酒二瓶。万里小路より最中一重。弘方摘要 陽子心附、一円。

四月三十日 日曜 晴。

早起。課行如例。午下五時頃ヨリ、余、愛治郎、千久子ト同しく五軒町ニ過、夜九時帰。牧野千代子ヨリ書翰箋一箱。折田親子より、菓子一罐。反物廿七反。

(四月會計、記載ナシ)

(五月)

五月一日 月曜 晴。

早起。課行如例。入学通学者、浜貞子、菅野秀子、遠田澄子、山本よし子、室田菊重、御酒本市子之六人也。丸山昌子退校ス。三条家より竹の子。原善一郎初節句ニ付、柏餅、糯卷、八角盛物、松魚一箱、酒一升、料理三円。丸山昌子より、カステイラ一箱。伊吹竜江より、唐金花器。受方摘要 丸山昌子より二円。

五月二日 火曜 陰。

早起。課行如例。午下、裏松氏ヲ訪フ。それヨリ九条家ニテ御教授、畢而帰。佐久間泰子、其男児ト隆子ト来ル。五十嵐金及駒子来。駒子退校ス。

五軒町跡見重孝より柏餅一重。茂木良太郎より松魚一台、料理三円、柏餅、**笹ちまき**、**二重ホカイ**。五十嵐駒子より**保太織**一反。佐久間泰子より、カステイラ一箱。

受方摘要 五十嵐駒子、五円。

*笹ちまき(笹粽) *二重ホカイ(二重行器) *保太織(保多織)

五月三日 水曜 終日雨。

早起。課行如例。午下、戸田邸及岩倉邸ニ教授して帰。伊藤子之松、佐野新子、久米節子、松野鉄千代来。

久米民十郎、土神詣祝及初節句祝、鳥の子餅一箱、柏餅一箱。佐野新より鰻蒲焼二箱。伊藤子之松より交肴。松野鉄千代より柏餅一重。糸氏より桃子え**幽染縮緬**一反、愛治郎、筑前帯一筋。

受方摘要 久米氏より、十円。

*幽染縮緬(友禅縮緬)

五月四日 木曜 晴。

早起。課行如例。此朝、久米氏舞扇、櫓、菖蒲揮毫。横浜渡辺玉子及政子来、入学ス。

渡辺氏ヨリ絹白地一反、洋菓子五瓶、**おせん**一籠。外二次え**唐さん**七反。

受方摘要 渡辺氏より三円。

*おせん(お煎) *唐さん(唐棧)

五月五日 金曜 晴風。

早起。課行如例。午下〇三十分、余、愛治郎、千久、桃子、泰ト馬車ニテ芝紅葉館ニ行。此会也、久米氏生子民十郎初節句祝宴ニ付、二時ヨリ能楽堂ニテ、久米氏橋弁慶、中伯母ケ酒、

望月之三番、外ニ梅若実始、仕舞数番。畢テ紅葉館ニテ祝宴。中坐シテ五軒町跡見重孝之初節句ニ会ス。又盛宴也。夜十一時帰。

中村文子より、すもし一重。

五月六日 土曜 晴。

早起。課行如例。野口春子、太田佳津子入学ス。大井富江入塾ス。此夕、五軒町ニ行、八時頃帰。

五月七日 日曜 晴。 小松宮、有約、午下二時出向事。

早起。課行如例。午下、余及桃子ト同じく二時出門ニテ小松宮邸ニ詣ス。有約、大久保躑躅遊覧ニ付、八重子君ト長崎氏、余及桃子同車ニテ躑躅園ニ至ル。実、火ノ世界ニ行ガ如シ。

天晴朗、雑沓如織。所々のつゝし及牡丹花など愛て、山口主猟局長ノ別墅に着、山口氏夫婦待受らる。此荘也、田園中ニ一亭ヲ設ケ、眺望尤妙、東八岡山ノ如ク新緑如滴、前面皆田園、真世外之興也。鷹匠之調理ニテ佳肴美酒。八時頃告別、又乗馬車、小松宮邸ニ帰、直ニ帰宅ス。時、十時也。

萩銚子、其母ト来、退校ス。

萩銚子より九谷焼カヒ喰ミ六人前箱入、干菓子一箱。

*つゝし(躑躅) *別墅(別墅)

五月八日 月曜 晴。

早起。課行如例。

広田千代子より壁塩瀬帛紗。加茂玉江より蒸菓子一箱。太田佳津子より月香餅一箱。

五月九日 火曜 晴。

早起。課行如例。午下、閑院宮及九条家ニ教授して、三条邸ニ詣シ、暫時閑談して帰。池田禄子、其妹ヲ拉テ来。

目黒前田より竹の子沢山。池田禄子より、カステイラ一箱。田村氏より新茶。万里小路より、すもし一重。

五月十日 水曜 晴、午下、雨一切にて止、陰。

早起。課行如例。午下、戸田邸ニテ教授ス。此時、戸田氏共伯の姉君丹羽氏ニ面晤ス。已而帰。

*切(しきり)

五月十一日 木曜 晴。

早起。課行如例。午下、佐野新子来、斎藤松の子入塾依頼ス。

渡辺政子より、するめ一束、干あん二袋。斎藤千賀子より、カステイラ一箱。

*斎藤松の子(斎藤松野子)

五月十二日 金曜 晴風。 有約三条家午下三時ヨリ出向事。

早起。課行如例。此朝、斎藤善子、其娘松のを拉して来ル。此日入塾。午下三時ヨリ、余、三条篤子、夏子、毛利万子ヲ拉して三条邸ニ至ル。四時三十分ヨリ追々来客アリ。毛利元徳公及安子君、伊藤大臣夫婦、末松夫婦、閑院宮御息所、土方大臣夫婦、其外清岡、尾崎、桜井也。五時半頃、日本館ニ着坐。酒宴、盃廻て余興、茶番等有。又席画、合作物有。十一時客散。余又帰、十二時過也。

斎藤松のより交肴七尾、五家棒十五本、蒸菓子一箱、御召縮緬二反、糸織二反、緋友仙一反、生徒え菓子百袋。

*松の(松野) *土方大臣(土方大臣) *斎藤松の(斎藤松野) *五家棒(五家宝)
*緋友仙(緋友禪)

五月十三日 土曜 晴。

早起。課行如例。久米民之輔、節子来。万千世、民十郎ヲ連て来。六時帰。森竹静江来。石神井村弘来。

久米氏より干菓子一箱。森竹静江より鶏卵百籠入。石神井村高橋より鶏卵。

五月十四日 日曜 晴風。

早起。課行如例。終日揮毫ス。吉見捨子退塾ス。通学願出ル。晡時、五軒町二行、入夜帰。吉見捨子より鶏卵一箱。斎藤兩人より唐饅頭一箱。森永琴より柏餅一箱。

五月十五日 月曜 晴風、夜又大風。

早起。課行如例。朝、墓參ス。

五月十六日 火曜 風止而雨。

早起。課行如例。

五月十七日 水曜 晴朗。

早起。課行如例。午下、戸田家、岩倉家ニ教授して、帰途、五軒町ヲ訪而帰。時、池田栄亮妻及緑子生子幾子来。幾子入塾ス。

永倉菊子より鶏卵一箱。五十嵐駒子より、せんへい一籠。池田幾子より鶏卵一箱。

*緑子(録子) *せんへい(煎餅)

五月十八日 木曜 雨。

早起。課業如例。

朽木鋪子より鶏卵一箱。

五月十九日 金曜 晴。

早起。課行如例。午下、余、桃子ヲ拉して歌舞技座二行。江副氏之招待ニ応して也。曾我三幕目、佳興之所也。夫ヨリ夜打及十番切、皆妙也。次勸進帳、不相替絶妙。畢而白木屋也。畢時八時。三州屋晚餐ヲ喫して、米子、静子ヲ拉して帰。時、九時也。

*歌舞技座(歌舞伎座) *佳興(佳境)

五月二十日 土曜 晴。有客。

早起。課行如例。午下、余、千久子ト同しく上野勸工場二行、買物ス。帰途、目鏡ヲ買得帰。

五軒町重威来。

稲垣氏ヨリ千大根、わかめ。

弘方摘要 目鏡二組、二円三十銭。外二買物、五十銭。

*目鏡(眼鏡) *目鏡(眼鏡)

五月廿一日 日曜 陰。朝雨、午下晴。無客。

早起。課行如例。午下早々小松宮邸ニ詣シ、御息所ヲ教授して、五時去、五軒町姉邸ニ行。

故宰相中将殿御祭日ニ付参詣ス。愛治郎始、家族一同来。入夜帰。

小松宮より塩瀬大袷紗。石山基正より饅頭一箱、故延子五十日志。

受方摘要 小松宮より五円。

五月廿二日 月曜 半天。無客。

早起。課行如例。

沢家ヨリ赤飯一重、鶏卵一箱。

五月廿三日 火曜 雨。有客。

早起。課行如例。島田氏使茂女来。島田信子再入門ス。

島田氏より鶏卵一箱。石山氏より筆五枝。

五月廿四日 水曜 雨。有客。

早起。課行如例。午下、戸田氏、岩倉氏ニ行、教授して帰途、島田三郎ヲ訪。信子ト面晤し

て帰。織田氏妻、明日栃木ニ出立ス。暇乞ニ来ル。不在ニテ不逢。

織田氏より寿もし二重。

五月廿五日 木曜 雨。

早起。課行如例。午下五時頃ヨリ、余、愛治郎、千久、桃子ト同しく、雨を冒して万里小路

の招ニ応して行。此日也、牛天神の祭日ニ付、只此方のみの客也。吉村孝左衛門之連中、長

唄之興有。夜十時帰。

*吉村孝左衛門(芳村孝左衛門)

五月廿六日 金曜 雨。

早起。課行如例。

田村増子より夏の前掛、西洋砂糖漬二箱。

五月廿七日 土曜 雨、雷鳴、己而晴。夜始観月。石山延子五十日祭、伝通院及星岡、有

約。

早起。課行如例。午下一時より伝通院ニ参詣ス。石山延子五十日祭也。読経畢而、光円寺御墓所ニ参詣して帰。四時ヨリ星岡茶療ニテ晚餐ヲ饗せらる。九時前帰。
高鹿熊子使来、蒸菓子一箱。

*星岡茶療(星岡茶寮)

五月廿八日 日曜 晴、夜雨。有客。

早起。課行如例。午下早々中山勝子様御入、暫時ニして帰られ候。此朝、萩氏より滝本犀路氏来。縁段之事也。午下二時ヨリ徳川家ニ良子様、富子様教授して、浅草観音ニ参詣して帰。中山勝子より皇后宮より御拝領の御交肴沢山、白明石一反、桃子えも明石一反。安田輝子より弁松料理。斎藤氏より菓子一箱。鷺田氏、葡萄酒一瓶、西洋イチゴ。
受方摘要 中山勝子より千疋。

*縁段(縁談)

五月廿九日 月曜 晴、夕より雨。有客。

早起。課行如例。九条家より使来、恵子様、画教授御断。書のみ稽古願出られ候。佐藤利尾子、郷里より帰来。杉浦孝子入門願来。佐伯こん及保証人東長詔同伴。
九条家より御召縮緬一反。毛利式子より蒸菓子一箱。佐藤利尾より鉄瓶箱入。高鹿尹子より寿もし一箱。
受方摘要 九条家より八円。

五月三十日 火曜 終日雨。

早起。課業如例。午下、閑院宮ニ詣し、御稽古上て去。帰途、山本安治郎氏ヲ訪、久子ニ逢て帰。浦春暉より書至。五月三日、早苗事、三重県紀伊国北牟婁郡尾鷲村土井藤右衛門氏ト結婚相成由申来。

五月三十一日 水曜 朝ヨリ晴天、午下三時頃ヨリ雨、交雷、已而晴。

早起。課業如例。午下、戸田家、岩倉家ニテ教授して帰。此朝、三条資子君成らせられ、富君様御縁段ニ付、御内談之件也。暫時にして御帰られ候。糸節子来。

向口屋より蒸菓子一箱。糸節子より千久子え、友染縮緬一反。

受方摘要 三条家より一円。田村氏より廿円。

*縁段(縁談) *友染縮緬(友禪縮緬)

(五月会計、記載ナシ)

(六月)

六月一日 木曜 晴。有客。

早起。課業如例。午下五時頃より五軒町二行、已而帰。関今子入塾ス。京都近万、大塚陽母来。五軒町重孝事、此二、三日少々不出来ニテ妙ニヒウ々々言ヒつゝけニテ大イニ心配也。渡辺政子より海苔二箱。近万より菓子。大塚母より、**おそは**一籠。

拓方摘要 宝前え一円。小間物、一円五十錢。

*つゝけ(続け) *おそは(お蕎麦)

六月二日 金曜 雨。

早起。課業如例。朝十時、業ニかゝり候処、五軒町ヨリ重孝病氣ニ付、早々来てくれ様との使来、直ニ車ニテ行。向候処、昨夜ヨリ様子も大イに不宜、朝ヨリ乳ヲ吞かね候よし、ヒウヒウとんと絶間なく、早速医師ヲ呼候処、御大切趣申、外ニよき医師ニテも迎えくれ候様申て帰り候。愛治郎車ヲ飛して山川ヲ頼みに行ニ帰。病人乳ヲ吞出し、大イに見直したる様子ニ相成候故、愛治郎帰宅ス。其跡ニテ乳ヲよくく呑テ、中々勢もよく相見え、一同悦ニ居り候処、ひとく**たん**出来、**逐ニ**其まゝ息絶ル。重威夫婦、余と涕泣する事たとふるに物なし。生て丸八ヶ月間、昼夜の**丹情**、水の泡ニ帰し候。残念無限。順天堂も来、山川も来ル。絶息後也。皆方々え知らせ、追々人走来り、此夜通夜する。此日、主上、土方別荘へ行幸あらせられ候ニ付、生徒一同奉迎之心組ニテ候処、当門前ニテナク、向柳町御順路ニテ、其上、雨降出しテ、奉迎ヲ止ル。

*たん(痰) *逐ニ(逐ニ) *丹情(丹精)

六月三日 土曜 晴朗。

朝五時、五軒町より帰り、授業して、午後早々、又五軒町二行。此日五時出棺、葬送之行列も大イに盛ニテ会葬者も頗多く、天気も十分、風もなく、光円寺中、父の**かたはら**に埋葬ス。七時過、全畢。九時帰宅ス。

千家国子より和布。田村長子より**せる地**一反。**松の鉄千代**より一口香二重。

*かたはら(傍ら) *せる地(セル地) *松の鉄千代(松野鉄千代)

六月四日 日曜 晴。

早起。朝十時、家内一同光円寺ニ灰葬ス。十一時過、全畢帰。此朝、千葉県貴族議員五十嵐氏来、入学願出ル。

六月五日 月曜 雨。

早起。課業如例。此日、亡母明善院廿五回忌ニ付、木津跡見法城方え金二円**備物**出ス。今井冬子より大鼓饅頭一箱。糸節より、フランネル一反。昨四日、杉浦幸入塾ス。

*備物(供物)

六月六日 火曜 晴。

早起。課業如例。午下、閑院宮ニ詣シ、御教授して三条家ニ詣シ、資君様と御縁段之事ニ付、御相談有。已而去テ五軒町ニ行、帰。

*縁段(縁談)

六月七日 水曜 晴。

早起。課行如例。此日、亡母明善院殿廿五年忌辰ニ付、祭典執行ス。来客者、母の知る人のみ。姉小路良子殿代理豊女、重威及治子、玉枝及母是ハ不參、山片菊女のみ。夕餐の筈、二時三時頃ヨリ客来。応餐、夜八時畢。

山形菊子、柏餅一重。しげ威より大福餅二百數。

受方摘要 藤袴内侍より千疋。玉枝より五十錢。

*しげ威(重威)

六月八日 木曜 晴朗。

早起。課行如例。此日、重孝一七日ニ付、余、愛治郎、千久、桃子と同しく、光円寺ニ參詣ス。五軒町皆来。読経畢而皆五軒町ニ行。夜八時帰。

弘方摘要 陽子え心附、二円。

六月九日 金曜 晴。

早起。課行如例。重威来。

跡見重威より蚕豆一重。池田愛子より、すもし二重。大塚陽子母より、すもし一皿。

六月十日 土曜 雨晴、不定。

早起。課業如例。午下、往徳川邸、良子、富子、教授して、帰途、藤堂邸ニ行。夫人俊子初産女子芳子之祝ヲ伸へ、緋板しめ初着ヲ祝テ、俊子及芳子児も見テ帰。此時雨中ニテ、リヤウマリス起り、帰宅早々臥。

寺田福寿より蚕豆沢山。尾の道橋本吉兵衛より千鳥賊五枚。

*緋板しめ(緋板締) *リヤウマリス(リヤウマチス)

六月十一日 日曜 雨。

終日、臥蓐。重威、見舞来。

斎藤千賀子より、カステイラ一箱。

六月十二日 月曜 雨。

此日も臥蓐ス。重威、見舞来。
桃子より覆盆子一籠。

六月十三日 火曜 雨。午下、雨始晴。
此日も臥蓐。漸病微。重威、見舞来。

六月十四日 水曜 晴。
早起。床払ス。終日揮毫ス。藤堂芳子宫参リ二付、使来。大坂山岡基一郎来。閑院宮御使来。
藤堂芳子より松魚一箱、紅飯一重。閑院宮より御菓子一箱。山岡より錫茶入箱入。
弘方摘要 置時計、二円四十銭。

六月十五日 木曜 朝ヨリ陰、午時四時頃ヨリ雨。
早起。課業如例。終日揮毫ス。寺田福寿来。
角田氏より大鯛一尾。

六月十六日 金曜 雨。
早起。課業如例。
受方摘要 閑院宮様、三十円。

六月十七日 土曜 朝、小雨、午下、晴。
早起。課業如例。晡時、往五軒町、帰。此日、福島中佐ニ贈ル詩、及撰書会ニ贈ル詩、雲竜堂、瓢琴楼額面、終日揮毫ス。

六月十八日 日曜 晴。
早起。終日揮毫。山岡基一郎来。

姉小路良子より御団子一重。森永琴より蒸菓一重。斎藤千賀より蒲鉾二枚、菖蒲花一束。鷲田氏より琵琶一盆。山崎丑栄より蒸菓子一箱。

*蒸菓(蒸菓子) *琵琶(枇杷)

六月十九日 月曜 晴
早起。課業如例。重威、北村、伊藤子之松、吉村孝梅、山岡来。

*吉村孝梅(芳村孝梅)

六月二十日 火曜 晴。始八十五度。

早起。課業如例。午下、閑院宮ニ詣し、教授して去。三条邸ニ詣ス。資君様ニ面晤。富子様改名美佐子様、毛利家え愈七月六日御結婚御治定ニ付、御祝として立紹箱入、松魚大箱入ヲ

呈ス。種々御相談有て帰。重威来。大坂人大井氏来。
跡見重孝、三七日引上之志、干菓子一箱。跡見玉枝より鯛一尾。

六月廿一日 水曜 朝、細雨、已而止、終日陰。
早起。課業如例。午下、戸田家、岩倉家ニ教授して帰。

六月廿二日 木曜 朝ヨリ雨、午下ヨリ晴天。
早起。課行如例。午下三時ヨリ光円寺ニ参詣ス。余、愛治郎、千久、桃子ト同しく。此日、
五軒町重孝三七日引上満中院法会執行。参詣人も石山基正子始、多人数、盛会也。四時過畢
而、又姉邸ニ行。一寸酢及吸物位にて、夜十時帰。
渡辺政子より、ワツフル一箱。

*一寸酢(一寸鮓)

六月廿三日 金曜 晴、午下、驟雨、已而止。
早起。課行如例。此日夕餐後、塾生一同六十人斗ヲ拉して白山下花菖蒲見物ス。花花盛開、
紫白相交テ、万花之間逍遙ス。見る者花よりも美しくと打語れり。丸山辺散歩して帰。日光
花屋敷より菖蒲花沢山。

六月廿四日 土曜 晴。
早起。課業如例。

六月廿五日 日曜 晴、雷鳴驟雨、已而霽。八十六度。
早起。課行如例。午下五時ヨリ今川小路玉枝之宅ヲ訪。余、愛治郎、千久子、桃子ト也。玉
枝、今般新築家買得したる祝之為也。晚餐ヲ喫ス。大岸玉琴之八雲琴之興有。夜八時過帰。
月光。

*霽(霽)

六月廿六日 月曜 晴。
朝四時起。庭中運動ス。課業如例。此日より通常試験執行ス。遠藤義為、葛西十郎来。遠藤
氏より夏の敷物十枚。

六月廿七日 火曜 八十五度。
朝四時起。運動ス。午下一時、閑院宮邸ニ詣ス。御教授上ケテ、帰途、万里小路飯田町ノ家
ヲ訪。夕飯ヲ饗せられる。已而帰。

六月廿八日 水曜 八十六度。

朝四時起。行藁ス。課業如例。午下早々戸田邸、岩倉邸ニ行教授して、帰途、五軒町姉邸ニ行而帰。下婢里、暇出ス。

六月廿九日 木曜 晴。八十八度、熱甚。

朝四時起。行藁ス。課業如例。午下一時ヨリ、余、愛治郎、千久子、桃子、泰児ト同しく、池の端中井敬所之宅ニ行。此楼上ニテ福島中佐帰朝歓迎之形況ヲ觀ル。上野馬見所ヲ式場トナス。さしにも広き上野公園の群集、種々旗なとをし立て、福島万歳の声、天に響テ、樂隊なともとんと聞えず、実に砂煙模糊中蟻の合戦之如し。午下四時頃、告暇帰。

*をし立て(押し立て)

六月三十日 金曜 晴。八十八度。

四時起。行藁ス。課業如例。夏期試験全畢。

(六月會計、記載ナシ)

(七月)

七月一日 土曜 晴。九十二度。

四時起。行藁ス。試験済、休暇。午下二時、余、桃子、栄子、三条篤子、夏子、毛利万子、式子、福原梅子、石山氏ト同しく、上野博覧会跡第五号館ニテ選書会開会ニ付、招待ニ応し、一覽して同働工場縦覽して帰。熱甚。

七月二日 日曜 晴。九十三度。

四時起。行藁ス。七時ヨリ高輪毛利家ニ行。近日、元昭君、三条美佐子君と御結婚ニ付、祝物持参ス。御夫人安子様ニ面晤ス。祝酒ヲ饗せられる。十時去。帰途、内務大臣官邸ニ井上末子婦人ヲ訪、暫時面晤して帰。十二日也。井上末子夫人来。毛利家え松魚一折、御召縮緬一反ヲ祝ス。

受方摘要 毛利万子より五円。三条家より十円。牛込幸子より三円。

森竹時得より鶏卵一箱、香包。牛込幸子より瓦斯織縮緬一反。

*内務大臣(内務大臣) *井上末子婦人(井上末子夫人) *十二日(十二時)

七月三日 月曜 晴。九十二度。 此日ヨリ授業半日間トス。

朝四時前ニ起。行藁ス。課業如例。近藤加栄子入塾ス。夕、近傍散歩ス。万里小路素信、来。下婢美也、抱ル。

斎藤千賀より金玉糖一箱。園頼子、鶏卵一箱。

七月四日 火曜 九十度。
三時半起。行藁ス。課業如例。此夕、膏雨始降、交雷。

七月五日 水曜 晡時ヨリ雨。九十二度、夜涼。
朝四時起。行藁ス。朝六時ヨリ岩倉邸二行、又戸田邸二行、教授して帰。
受方摘要 吉田鉅子、三円。藪兼子、三円。園祥子、三円。

七月六日 木曜 晴。涼甚。此涼氣ハ今日にして、実に天ノ恵也。

朝四時起。行藁ス。課業如例。九時過ヨリ三条家ニ詣ス。美佐君様御輿入御見立申上ル。御
くし御童、御打着白地赤紋散し、ヒワ色御ひとへ付、御召ハ桃色ねり、下白さらし、濃きの
御袴にて、いとくろうきき御よそほひにて、土方大臣夫婦御媒灼にて、十一時過御馬車ニ
テ御出門也。後続、公美公、資君様も毛利家え成せられる。御跡御食堂ニテ御祝飯ヲ喫して
帰。午下五時ヨリ、余及愛治郎、千久、桃子と同しく、万里家ニ行、家移之祝ニ招かれ、晚
餐ヲ饗せられる。九時過テ帰。

宇都宮高子より、カステイラ一箱。渡辺玉子、政子より桐生一反、松魚一箱。寺田福寿より、
カステイラ一箱。

受方摘要 渡辺玉子より千疋。

*御くし御童(御髪御童) *打着(桂) *ヒワ色(鶉色) *ひとへ(単) *下白さ
らし(下白晒) *らうきき(ろうたき) *御よそほひ(御装) *媒灼(媒酌)

七月七日 金曜 晴。八十二度、涼甚。
朝四時起。行藁、課業如例。久米節子来。

毛利万子より千菓子一箱。田村氏ヨリ綾浪縮緬一反、笹浪縮緬二反、浴衣地三反、手拭二反。
久米氏より夏の乱れ箱。

七月八日 土曜 晴。八十度、涼甚。

朝四時前起。行藁ス。課業如例。午下三時半ヨリ、余、桃子ト同しく、高輪毛利家ニ行。過
日、元昭美佐子様の結婚相斉ひ、右二付、祝宴開かれ、其招きに応ス。実に盛大也。美佐子
様も大ゐに御様子も御替りに相成、御夫婦之折合もよろしく、元徳様、安子様、御家来之向々
一同、大安心のよし。此宴、六時ヨリ九時。余、中座して帰。

受方摘要 中山正子、五円。平田三枝、三円。樹下定江、三円。生源寺いさを、三円。

七月九日 日曜 晴。九十二度。

朝四時起。行藁ス。亡婆いと百ヶ日法会ヲ光園寺ニ執行。石碑建塔、供養ス。五時読経、六
時畢。午下一時ヨリ徳川家ニテ教授して帰。熱甚。

受方摘要 澄子、菊子、万地子、いさを、六円。
*光園寺(光円寺)

七月十日 月曜 晴。九十二度。
朝四時前起。運動ス。課業如例。中村元嘉妻君及文子来。文子入塾ス。此夕、園中氷店ヲ開ク。百廿八碗ヲ喫ス。

徳川氏より尾州提灯二箇、同うちわ十本。中村文子より洋菓子一箱、外に名々え色々。
受方摘要 関根照子、北大路棍、千疋。中村駒子、四円五十銭。徳川氏、十五円。西村政子、二円。中村文子、五円。

*名々(銘々)

七月十一日 火曜 晴。九十二度。
四時前起。行楽ス。課業如例。畢而九時半ヨリ閑院宮邸ニ詣し、教授して帰。此日を以テ教授休みとす。

斎藤氏より鰻一箱、中家宝十五本。花月堂より砂糖一箱。閑院宮よりすきや御めし一反。広田千代より洋菓子一箱。今井冬子より友仙縮緬袖地、カステイラ一箱。横浜原氏より明石一反、角砂糖三包。

受方摘要 戸田氏より、廿二円、外二円。

*中(ママ)家宝 *すきや(透綾) *御めし(御召) *友仙縮緬(友禅縮緬)

七月十二日 水曜 晴。九十四度。

四時前起。行楽ス。課業如例。朝六時より戸田邸ニテ教授して、岩倉邸ニ行、教授をさめをして、小松若宮邸ニ中元申上テ帰。小松若宮殿下、近々欧米へ御出発ニ付、御餞別、緋友仙縮緬一反献上ス。并能節子入塾ス。其祖父母来。重威へ中元明石一反、はつ子えちみ浴衣一反。

戸田氏より御めし縮緬一反。岩倉氏より明石一反。并能氏より、カステイラ一箱。江沢房子より砂糖一箱。松平岳子、鶏卵一箱。高岡みせより菓子一箱。跡見玉枝より白木綿二反、茶一罐。

払方摘要 買物、二円五十八銭。

受方摘要 岩倉梭子より廿円、外二五円。松平岳子、三円。安田輝子、十円。跡見玉枝より五十銭。

*教授をさめ(教授納め) *緋友仙縮緬(緋友禅縮緬) *ちみみ浴衣(縮浴衣) *御めし縮緬(御召縮緬)

七月十三日 木曜 晴。招待、三条家御里開、紅葉館二午後五時出向。

朝三時起。行楽ス。課業如例。午下四時半、出門。余、万子ヲ拉して紅葉館ニ行。毛利公爵

両夫婦より閑院宮様御夫人、井上大臣、土方大臣、其外五十人余の来客、盛大ナル宴会也。余、九時過去、十時帰。

前田梅子より砂糖一箱。角田氏より砂糖一箱。池田愛子より氷砂糖一箱。藤袴内侍より水仙粽**十巴**。佐藤姑子より砂糖一箱。

受方摘要 若松典侍、一円。糸桜典侍、一円。森永辰枝、五百疋。御寺御所百ヶ日志、廿五錢。

*十巴(十把)

七月十四日 金曜 晴。九十二度。

朝三時後起。行菓。課業如例。午下四時より、余、島田三郎子、南条氏、北白川宮、小松宮、田村氏ヲ訪、晚餐ヲ喫而帰。九時過也。

御寺御所大聖寺住職前景愛仰宗慈綱尼大禪師、立鶴茶碗五、網袋慈綱細工茶台五ツ、文庫共。稲垣氏より鶏卵一箱。酒井氏より鶏卵一箱。米倉氏より砂糖一箱。鳥居氏より書翰箋箱入。山内節より素麵一箱。斎藤氏ヨリ鶏卵一箱。北村静より鮎一籠。若林より糟漬一箱。松野氏、鶏卵十箱。

受方摘要 吉川真佐子、三円。松野利根子、五円。斎藤千賀、松、五円。

七月十五日 土曜 晴。九十二度。招待、小松若宮、欧米御巡行二付、紅葉館、午後六時出向之事。

朝三時起。行菓ス。此時、駒込火。本校休日。佐野新子来。午下四時半より、余、三条邸ニ中元申上て、直ニ紅葉館ニ行。小松宮若宮様、頼子様、八重子様、**外務大臣夫人**、宮内大臣夫人、花房、清岡、井上男爵夫人、上野夫人、下田歌子等也。夕餐被饗応。紅葉館、踊舞有て、九時過、皆尽歎而帰。十時過也。

佐野氏ヨリ、カステイラ一箱。上芝岩太より干菓子一箱。松平鱗子、松魚一箱。久米氏、伊勢崎**めいせん**六反。五十嵐駒子、鶏卵一箱。加茂氏より素麵一箱、懐中ラムネ。成田菊より松魚一円。

*外務大臣夫人(外務大臣夫人) *めいせん(銘仙)

七月十六日 日曜 晴。九十七度。

朝四時起。行菓ス。跡見治子、原富太郎、万里富、為子来。

五軒町跡見より砂糖一箱、塩煎餅一文庫。杉浦幸より砂糖一箱。中村氏より水仙粽**七巴**。小松宮様より蒸菓子一箱。堀田善子より**揉羊羹**一箱。新井信子、白砂糖一箱。三条家より**壁すきや**一反。原富太郎より西洋煙草。万里小路より鰻二箱。中山正子より素麵。

受方摘要 板倉閑子より五百疋。中村敬子より二円。堀田善子、千疋。森竹時え、一円。

*七巴(七把) *揉(ママ) 羊羹 *壁すきや(壁透綾)

七月十七日 月曜 晴。九十二度。
朝四時起。行薬ス。課業如例。
齋藤氏より、すもし二重。田村氏より黄金滝一箱。

七月十八日 火曜 晴。九十二度。

朝三時三十分起。行薬ス。余、六時出門、七時二十分汽車ニテ神奈川山口氏え訪、已而九時
廿五分汽車ニテ帰。

森永時えより菓子二重。安閑寺より砂糖一箱。

弘方摘要 汽車代、七十二銭。外二、十五銭。ゆかた一反、七十銭。

七月十九日 水曜 晴。土用入。九十度。

朝三時半起。行薬ス。課業如例。

山形菊より宝莱豆一箱。片岡鶴よりしら玉粉一箱。森竹静江よりしら玉粉一箱。

*宝莱豆(蓬菜豆) *しら玉粉(白玉粉) *しら玉粉(白玉粉)

七月二十日 木曜 晴。夕景ヨリ膏雨降出、覆盆、交雷。歎喜無限。九十二度。

朝三時半起。行薬ス。課業如例。朝六時ヨリ戸田家二行、教授して帰。夕景、裏松千代子来。
雨やとりにて九時過帰られる。

裏松千代子より砂糖一箱。

七月廿一日 金曜 晴。

朝四時前起。行薬ス。雨晴、一天如拭、爽快不可言。此朝、宮城及青山御所女官方え暑中物
品ヲ呈ス。

浜貞子より岐阜提灯二箱。

弘方摘要 浴衣二反、二円五十六銭。

受方摘要 前田亀子、五百疋。楓内侍より五百疋。

七月廿二日 土曜 晴。

朝三時半起。行薬ス。課業如例。此朝、鷺田菊江、一番汽車ニテ仙台ニ出立ス。此夕、吉村
父子来。長唄ヲ演ス。庭中ニテ白玉ヲ饗ス。月明如昼。生徒之姿、杜若花、如咲乱、紫々白々、
実其美、可愛。

奥村八重子より真綿。米倉より葡萄酒二瓶。津田やより氷みつ二瓶。

*吉村父子(芳村父子) *葡萄酒(葡萄酒) *氷みつ(氷蜜)

七月廿三日 日曜 晴。

朝三時起。行薬ス。此朝、愛治郎、泰、石神井村豊田二行。来客者、中村元嘉、山本久子、

加茂富子及正坊児。夕、余、五軒町ヲ訪テ帰。月清光。

山本久子より素麵一箱。加茂富子より西瓜三箇。山登光より汗拭五枚。若松典侍より岐阜提灯三張。糸桜内侍より水仙粽七把。菅野秀子より蒸菓子一箱。

*七把(七把)

七月廿四日 月曜 晴

朝三時起。行薬ス。課業如例。此日ヲ以テ業脩ヲナス。

児島愛子より、急須茶碗箱入、団扇二対。折田親より、日光名菓子一箱。佐藤利尾より生徒一同え赤飯おこし箱入一箇つゝ。小西有勲より素麵一箱、水仙粽三把。

受方摘要 佐藤利尾子、十円。紅葉内侍より五百疋。

*業脩(業納) *三把(三把)

七月廿五日 火曜

此日迄、反物、六十七反。

安田氏ヨリ、カステイラ一箱。稲垣氏より丸ネール一箱。毛利式子より桃子え四ツ大目一反。

閑院宮より鶏卵一箱。峰孟親より鶏卵一箱。

受方摘要 三条家より七円五十銭。園頼子、五百疋。板倉閑子、一円。毛利式子、二円五十銭。浜荻典侍、三円。楊梅典侍、五百疋。

*四ツ大目(四ツ青梅)

七月廿六日 水曜 雨

姉小路良子より、カステイラ一箱、名酒一瓶。北白川姫宮より友仙御切。同吉野幸より半切二、半襟三。多豊尾より菓子一箱。山崎丑江より松魚。園田きんより団扇二本、同もたせ、手拭。田中尚子、縮緬袱子。中島知恵、衛生あめ一箱。森竹時江より菓子一箱。

受方摘要 紅梅典侍、千疋。吉田鉦子、五百疋。

*友仙御切(友禅御切)

(七月廿七日〜三十日、記載ナシ)

七月三十一日 月曜 朝小雨降、已而晴。

朝五時起。来客者、三橋淳。

園小菊典侍ヨリ錫三鉢、提灯二張。岩浪稲子より朝鮮飴。弘方摘要 日光行入費、廿八円余。

(七月会計、記載ナシ)

(八月)

八月一日 火曜 晴。八十九度。 夏期休業中、書画ニ限り教授ス。

朝四時起。課業ス。畢而墓參ス。七時ヨリ書画教授、八時畢。来客者、牛込幸子母、重威、依田雛子より漬物三瓶。牛込氏より角砂糖。伊藤氏より菓子一箱、**明荷**、**かんさし**ニツ。

*明荷(ママ) *かんさし(簪)

八月二日 水曜 晴。九十度。

朝三時三十分起。行薬ス。課業如例。来客者、小林茂母、田村長子、増子。

三条西浜子より氷砂糖一箱。小林茂子より菓子一箱。田村氏より笹浪織一反、**絹半カチ**六枚、**口繩**しめ一箱、砂糖漬一箱。藤堂俊子より角砂糖。

弘方摘要 浴衣二反、一円七十五銭。

*絹半カチ(絹ハンカチ)

八月三日 木曜 小雨、已而晴。七十五度。

朝三時半起。行薬ス。課業如例。畢而安田氏ヲ訪、妻君ト暫時談話して帰。又万里家へ行。男子出産ニ付、産衣ヲ祝ふ。已而帰。

杉浦幸子より、カル、ス煎餅一罐

八月四日 金曜 晴、八十九度。

朝三時半起。行薬ス。課業如例。午前十時ヨリ発車、新橋ニ至ル。小松若宮殿下、**欧米御謾遊**、十一時四十五分之汽車ニテ御発軔被遊ニ付、御見立申上ル。已而帰。来客者、森永琴子、

吉田庸子、広田千代母。

森永氏ヨリ、イナダ干物、菓子二箱、西洋日本西瓜二箇。吉田氏より砂糖一箱。広田氏、栗饅頭一箱。

*御謾遊(御漫遊)

八月五日 土曜 晴。九十度。

朝三時半起。課業如例。

吉見捨子より**なす**沢山。秋本氏より**美琳**一樽。

*なす(茄子) *美琳(味醂)

八月六日 日曜 晴。九十度。

朝四時起。行薬ス。来客者、岩浪稲子母、**池田録子**、幾子。

岩浪氏より菓子一箱、袖の香七包。新樹典侍より黒繻子帯地。斎藤氏より**大目すき**や二反、

すきや二反。毛利式子よりハダン杏一籠。池田録子より菓子一箱。石山基正子より南京、冬瓜、なすひ。

受方摘要 新樹典侍、五百疋。花松典侍、七百疋。

*池田録子(池田祿子) *大目すきや(青梅透綾) *すきや(透綾) *ハダン杏(巴旦杏) *池田録子(池田祿子) *なすひ(茄子)

八月七日 月曜 七日立秋。晴。九十度。

朝四時起。行薬。課業如例。畢而跡見玉枝ヲ訪而帰。来客者、万里小路通房伯。

千家子より、カステイラ、葡萄酒二瓶。小松若宮より鶏卵一箱。サンマ氏より砂糖一箱。万里伯より羊羹一箱。

八月八日 火曜 晴。九十度。

朝三時半起。行薬。課業如例。

五軒町重威よりなすひ、きうり一籠。

*なすひ(茄子) *きうり(胡瓜)

八月九日 水曜 晴。九十二度。

朝四時起。行薬。課業如例。来客者、松野鉄千代、丹羽花子、池田孝、吉村氏。

丹羽氏より砂糖一箱。池田孝より懷中汁粉一箱。宗家楽殿より鶏卵一箱。藤井より美琳一瓶。受方摘要 池田孝より二円。

*吉村氏(芳村氏) *美琳(味醂)

八月十日 木曜 晴

朝三時起。行薬。課業如例。

弘方摘要 陽子え二円。七、八月份。

八月十一日 金曜 晴。九十度。

朝三時起。行薬。課業如例。此日、着衣虫干スル。

山服弘道より岐阜提灯。石山氏より玉菜三株。

八月十二日 土曜 晴。九十度。

朝三時半起。行薬。課業如例。来客、山崎忠門。

報恩寺坂東氏より、カステイラ一箱。

八月十三日 日曜 晴、朝雨降、一分間位テ晴。九十度。

朝二時半起。南ノ方ニテ火アリ。行薬ス。五時より余、愛治郎、桃子、泰ト同シテ浅草観世

音え参詣して帰。来客者、南条愛子、宇都宮高子、平井氏。閑院宮殿下え金地扇面、躑躅極彩色、裏面、稲二雀三羽。

平井氏より、ビール二瓶。南条氏より葛素麵一箱。五軒町より玉蜀黍。

弘方摘要 浅草買物、一円。

*同シテ(同シク)

八月十四日 月曜 朝晴、九時頃より膏雨降出、喜無限。

朝三時半起。行薬ス。課業如例。五時、栄子、鶴子、石神井村二行、一宿。来客者、重威、三条家、富田氏。

佐野新子より蒸菓子一箱。

八月十五日 火曜 晴。

朝四時起。墓参ス。課業如例。

園田銚子より砂糖一箱。鷺田菊江より埋木茶タク五枚、干菓子一箱。

*茶タク(茶托)

八月十六日 水曜 晴、又雨。

朝三時起。行薬ス。課業如例。余、桃子ト同シク九時出門。田端村田村氏ヲ訪。終日閑談、六時帰。来客者、石井安子、万里伯。

室田菊江より、カステイラ一箱。伊達幸子より鶏卵一箱、温麵二箱。佐藤★(女十吉)子より香魚二箱。

受方摘要 石井氏より一円。

八月十七日 木曜 雨、又風。

朝三時起。行薬ス。課業如例。此朝、栄子、鶴子、従郷里帰。徳川東美子、従日光書来。返書ス。

豊田大より西瓜二箇、焼あられ一重、玉蜀黍。新場松より西瓜二箇、団子一重、玉蜀黍。

八月十八日 金曜 雨、又晴風。午後、暴風、又豪雨覆盆。熟甚、八十七度。

朝五時起。行薬。課業如例。

*熟(熱)

八月十九日 土曜 晴。

四時起。行薬。課業如例。来客者、久米節、民坊、鳥飼人中谷芳太郎知人今井喜久治。此夜、訃音、山口久米蔵、本日正午十二時死去。

酒井陽子よりはたん杏一籠。下婢みやの母、唐もろこし。久米より羊羹一箱。宗家より鶏卵

一箱、**幽仙切地**、**帯とめ**。中谷氏より古曾部焼急須茶碗、**茶タタ**、羊羹一棹。斎藤蔵之助より荒川香魚四籠。

*はたん杏(巴旦杏) *唐もろこし(唐黍) *幽仙切地(友禅切地) *帯とめ(帯留)
*茶タタ(茶タク)

八月二十日 日曜 三時半、雨、已而止陰。午下一時前、地震。七十九度。

朝三時半起。坐行ス。愛治郎、神奈川へ行。余、桃子、泰ト同しく姉邸ヲ問フ而帰。来客者、仁科駒。

万里小路通利より鶏卵一箱、赤飯二重。仁科氏より鳩麦あられ一袋。

八月廿一日 月曜 晴雨不定。八十九度。

五時起。行薬。課業如例。

下婢里女より洋西瓜二箇。伊藤子之松より千住生姜。

八月廿二日 火曜 晴雨不定。八十五度。

四時起。課行如例。来客者、尾道人士井父子、倉田栄助及木津唯専寺紹介書持参ス。

弘方摘要 買物、五十一銭。

八月廿三日 水曜

四時起。行薬。課業如例。

八月廿四日 木曜 晴。八十六度。

四時起。行薬。課業如例。

受方摘要 立花氏より三円。

立花邦子より金山魚三枚、半紙二束。

八月廿五日 金曜 晴。八十七度。

四時過起。行薬ス。課業如例。筑後立花氏え書ヲ寄ス。来客者、片岡君子及増子来。針ノ者きんより菓子一箱。片岡氏より菓子一箱、梨子一籠。

八月廿六日 土曜 晴雨不定。

四時起。行薬。課業如例。

八月廿七日 日曜 晴雨不定。

朝、行薬休ス。来客、安田輝子来。万里直房来。余、田村増子、病ヲ訪フ。チブス病ニテ熱度**三十八度二部**之間上下ス。

安田氏よりホイロ鮭二尾、弁松料理一重。石山氏より西洋西瓜二箇、玉菜二箇。
*三十八度二部(三十八度二分) *ホイロ鮭(焙炉鮭)

八月廿八日 月曜 晴雨不定。
四時起。行薬ス。課業如例。

八月廿九日 火曜 晴雨不定。
朝四時起。行薬ス。課業如例。来客者、万里通房伯及直房、斎藤千賀子。
斎藤千賀子より小田原柚餅三箱、外二手遊二箱。

八月三十日 水曜 晴。

朝〇時、一時迄、行薬ス。課業如例。此夕、玉枝来。涼台ニテ観月、歓笑。十時去。

八月三十一日 木曜 二百十日。朝四時頃、細雨如煙、已而止、晴、無風。九十度。
朝四時起。行薬。課業如例。

(八月会計、記載ナシ)

(九月)

九月一日 金曜 晴又雨、雷鳴。

朝四時起。行薬。墓参ス。課業如例。来客者、重威子。此日、鈴木弘恭氏解雇ス。

九月二日 土曜 晴。

朝四時起。行薬。課業如例。来客者、重威、及米倉山子也。山子、病氣ニ付退校ス。石神井村より弘児帰来。此夕、余、桃子ト同しく姉邸ニ行、九時過帰。

石神井高橋より梨子二十。

受方摘要 米倉氏より五円。

九月三日 日曜 晴。

朝四時起。行薬ス。余、片岡氏ヲ訪フ。増子縁段治定ニ付、祝之品ヲ贈ル。笹浪織一反。夫ヨリ田村増子之病ヲ問フ。熱度平生熱ニ減シ、全快ニ向フ。去テ山田時章氏ノ病ヲ訪フ。是又追々快方也。已而帰。来客者、上芝岩太来。夜七時頃、本郷駒込辺火。

田村氏よりヒフケート二箱。岩太より葡萄漬一瓶。

*縁段(縁談) *ヒフケート(ビスケート)

九月四日 月曜 晴又雨風、暴風。

朝三時半起。行菓。課業如例。来客者、小林茂母、カセ。小林氏より角砂糖一箱。サンマー氏より棒砂糖。

九月五日 火曜 晴朗、始生涼氣。八十度。

朝三時半起。行菓ス。課業如例。此日、塾生、続々帰塾ス。来客者、成田菊、井上末子、浅田幸母、築井愛資、千代、司、環、玉枝。

築井氏、香魚十五、ウルカ一壺。斎藤氏より五家宝廿袋、鰻券二円。加茂氏より松魚一箱。成田氏より鐘詰物二箇。浅田氏より真綿二巴。毛利式子より蒸菓子一箱。関今子より菓子一箱。森永氏より文庫白羽二重きれ。玉椿内侍より御ゆかた、貨幣入、御猪口五。三条家、おせんへい一文庫。中山正子より洋酒二瓶。長沢より砂糖一箱。園頼子より菓子一箱。弘方摘要 会計え借ス、五十円。

*二巴(二把) *二重きれ(二重切れ) *おせんへい(お煎餅) *借ス(貸ス)

九月六日 水曜 晴朗。七十七度。 授業始執行ス。

朝五時起。行菓。課業如例。塾生、通学生共、続々来校ス。正木信子入門。山本静子入門。石井初子弟孝、渡辺先生え入塾依頼ス。落合直文、和文学教授囑託ス。

杉浦幸子より鶏卵一箱、小杉三束、さし櫛一箇。長谷川貞子より茶一罐。室田菊江より菓子一箱。山本芳子より菓子一箱。野口春子より菓子一箱。牛込幸子、氷素麦、こもちやうし一袋。千家国子より真綿、縮緬袱紗、鶏卵一箱。遠田济子より練羊羹一箱。酒卷氏より、カステイラ一箱。菊子、鶏卵一箱。

受方摘要 石井孝より、一円。

*氷素麦(氷蕎麦) *こもちやうし(子持楊枝)

九月七日 木曜 晴。八十度。

朝四時起。行菓ス。課業如例。来客者、渡辺、島田氏よりお茂、万里直房。朝五時過より築地西本願寺、火。蓮華堂、太子堂残すの外、悉皆焼失ス。

渡辺氏より衛生あめ一箱、御盆三箇、硯箱。広田千代より菓子一箱。高鹿信子より、みりん二瓶。大崎梅子より梨子二箱。

九月八日 金曜 晴。八十五度。

朝三時起。行菓。課業如例。佐藤浅恵入門。橋本吉兵衛母死去報来。森竹時得より、カーヒ一箱。佐久間隆子より菓子一箱。

*カ(ママ)カーヒ

九月九日 土曜 晴。八十七度。

朝四時起。行菓。課業如例。橋本太吉氏え悔書ヲ寄ス。挙家一同、墓参ス。重孝百ヶ日祭ニ付、石碑建立ス。夫ヨリ皆、五軒町え行、昼餐ヲ喫ス。日暮ニ帰宅ス。
近藤香栄子より香魚数十疋。

*悔書(悔書)

九月十日 日曜 晴。八十八度。

朝五時起。此朝、田村氏え行、増子病ヲ問フ。よほと快方ニ迎ハレル。已而帰。氷川神社祭礼也。吉村房、菊来。

九月十一日 月曜 晴。九十八度。

朝五時起。行菓。課業如例。斎藤仁子来。平井氏、漢学教授ヲ辞ス。
斎藤母より紋縮緬一反、藤色友仙縮緬一反、緋板しめ縮緬一反、御寿もし三重。稻垣銃子より、カステイラ一箱。村田菊より氷砂糖一箱。松野とねより干瓢、湯葉。川勝品子より菓子及松魚券。

*藤色友仙縮緬(友禅縮緬) *緋板しめ縮緬(板締縮緬)

九月十二日 火曜 晴。九十度。夕方より七十二度、頓涼。襲綿入羽織。

朝三時起。行菓ス。課業如例。来客者、宇都宮高子。入門、井上玖珂子。片岡増子 同母と来、此度縁段齊ひ、十六日結婚ニ付、暇乞ニ来。

宇都宮高子より鶏卵一箱。片岡増子より唐紋縞子帯地。

*縁段(縁談)

九月十三日 水曜 晴。六十度。

朝三時三十分起。行菓ス。七時より戸田家ニ行、教授して帰。課業如例。伯爵山県有朋妻友子、昨十二日午前十時十五分死去、来ル十五日午後二時、護国寺ニ於テ仏葬式相営申候之訃音来。伊藤定子入塾。落合直文、校則之件ニ付、種々協議ス。

戸田家より湯本細工箱籠三箇。伊藤定子より花色絹一反。宗家より綱子様御三年志御菓子一箱。

九月十四日 木曜 晴。

朝三時半起。行菓。課業如例。此朝七時より目白山県邸ニ行、伸弔詞、焼香、暫時閑談して去。午下、余、千久、桃子ト同しく、白木屋ニ行、物もとめて帰。
弘方摘要 反物代、八円七十五銭。

九月十五日 金曜 陰、小雨、已而晴。

朝四時半起。行薬。課業如例。来客者、井上玖珂子保証人佐伯成言、神戸英和女学校教員宮川とし。入門、波多野静子。入塾、伊王野扶佐子。山県伯友子葬式、護国寺え愛治郎会葬ス。佐伯氏より煎茶一罐。石神井豊田より栗。

弘方摘要 金五十円、表会計より却ル。

*却ル(返ル)

九月十六日 土曜 陰。

朝四時起。行薬。課業如例。

九月十七日 日曜 雨、午下止。

五時起。坐行ス。入塾、井上玖珂子、石川千枝子。来客者、但馬人習田篤。

習田篤より真綿。

弘方摘要 染物代、壹円七十五銭。

九月十八日 月曜 陰。

五時起。行薬。課業如例。午下、徳川邸二行。義礼公御夫人、尾州え管属替ニテ近日御出発ニ付、御暇乞ニ参殿ス。御留守ニテ富子様と暫時御面晤申上て去ル。又宗様東殿え行、信楽院様と閑語、夕景ニ及、御告暇而帰。時、習田氏来。

并能節子より、桜海老一箱、わふる一箱。斎藤氏より、鰻二箱。中村文子より、葡萄一籠、梨子一籠。大塚陽子母より、梨子、茶。

*管属替(貫属替) *わふる(ワツフル)

九月十九日 火曜 朝雨、已而止。

朝五時起。行薬ス。課業如例。来客、万里為子。入門、中井鉄子。岩浪稲子より書至。

奥村八重子より五色砂糖豆一箱。万里ためよりなまり一籠。

*なまり(生節)

九月二十日 水曜 彼岸入。雨

朝三時起。行薬。課業如例。朝七時より戸田邸ニ教授して田村氏増子女史の病を訪テ帰。大橋氏、渡辺未亡人、其娘ヲ連而来。浦太郎、習田氏。渡辺千秋氏より書至。

西村菊子より花色ちゝふ一反、梨子。浦氏より、カステイラ一箱。大井富栄より大平糖一箱、貝細工、薬たま。

*花色ちゝふ(花色秩父) *薬たま(薬玉)

九月廿一日 木曜 雨、午下止。

四時半起。行薬ス。課業如例。入塾、遠山貞子、遠山尚子。

渡辺玉子より、するめ三連。石神井豊田より栗。

九月廿二日 金曜 朝晴、午下細雨。

五時起。行薬。課業如例。入塾、小田切音羽。

横浜原氏より大香魚十尾。

九月廿三日 土曜 **秋気皇霊祭**。陰、午下晴。

四時半起。行薬ス。朝、島田三郎氏より書至。信子、昨夜男子**姈婉**、母子共壮健也。原氏、岩倉家え書出ス。来客、浅田幸子母来。余、午下、蒲生氏ヲ訪ヒ、島田三郎氏え行。西村政子及茂木蝶子と居られ、出産男子も大丈夫、たくましそなる児にて、後世たのもしく思はれる。三郎氏、悦一方ならぬ事也。暫時にして帰途、姉邸に寄而帰。此日を以テ当家先祖代々霊祭ヲ執行ス。従是為家例。

*秋気皇霊(秋季皇霊祭) *姈婉(分婉)

九月廿四日 日曜 終日陰。仲秋無月。

朝三時起。坐行ス。此時、腹痛吐瀉二なやむ。終日臥。来客、久米節及民十郎。

久米氏より**瑠球紬**一反。森永氏より寿もし。

*瑠球紬(琉球紬)

九月廿五日 月曜 晴。月尤清光、如鏡。

朝五時起。課業如例。来客、安富幾子。渡辺良斎妻、昨廿四日死去訃音来。

斎藤氏より梨子。石神井村道つくり**ぢ**より栗。新場カ、より、栗、芋。田村氏より寿もし一箱。安田氏より、お萩沢山。安富より蒸菓子。

*ぢ(爺) *カ、(嚙)

九月廿六日 火曜 晴、又陰、夜雨。

朝二時起。行薬。課業如例。午下、閑院宮ニ詣ス。御息所君ニ拝晤して帰。

万里国子より赤飯食籠二箇。池田愛子より蒸菓子一箱。

受方摘要 万里国子より五円。

九月廿七日 水曜 雨。

朝五時起。坐行。七時より戸田氏教授して、**田村氏え**を訪。渡辺氏え悔ヲ申して帰。午下、青山御所ニ参り、浜荻典侍の御局ニ、国子殿、此度宮内省御用掛仰蒙られ、実ニ冥加之至ニテ其御悦ニ参り、浜荻様も少々御所勞ニテ御局ニ御やすみ中、ゆるく種々の御物語などし

て、其内酒肴ともいたゞき、しらすく時を移し、漸御暇を告て下りぬ。国子様も大くよき御局さまニテ大るに其御様子も見参らせて、安心いたしぬ。辻重義妻宮原竹野死去、訃音来。

片岡増子より鳥の子餅一重、松魚一箱。

弘方摘要 表会計え五十円借ス。

*田村氏(え(ママ)) *借ス(貸ス)

九月廿八日 木曜 晴陰不定。浅草貴婦人会、午下早々参集。

朝四時起。行楽。課業如例。午下、貴婦人会ニ参集ス。副会长榎本田鶴子追悼読経執行、跡副会長土方亀子、後任相成らる。精進御非時、饗応あり。是ハ田鶴子の為御志也。来客、松平頼子、角田栄子。折田平内、井上秀子書至。

協日照より菓子銘冬夏一箱。松平頼子より蒸菓子一箱。角田栄子、ぶとう一籠、桃鐘詰一箇。弘方摘要 榎本え花代、六十銭。

*跡(後) *ぶとう(葡萄)

九月廿九日 金曜 陰。岩倉家、午下教授始之事。

朝四時半起。行楽。課業如例。来客、あつ原氏、宇都宮高子、山登光子。名古や井上秀子、宇都宮折田平内、寄書。

戸田氏より鶏卵一箱。山登光より交肴、赤飯一重。

*名古や(名古屋)

九月三十日 土曜 雨。姉邸出向事。

朝四時半起。行楽。課業如例。午下一時より、余、愛治郎、千久、桃子と同しく雅楽稽古所秋季演習を見ニ参る。舞楽、賀殿、しら浜、管弦楽の三番を見聞ス。実に古しへを思ひ出してかんに絶候。楽の音すみわたり、世の外の天上のかくかとおもはれる。すてにして去而五軒町祖先祭りニ参る。来客人、各々芸を奉納する。夜十時帰る。雨少しも不止。来客、松野るい、加茂富子。此夜、遠藤重平妻ふみ死去電報来。

松の氏より丸ほほる二箱。

*しら浜(白浜) *かんに絶(感に堪) *かく(楽) *おもはれる(思はれる) *すてにして(已にして) *丸ほほる(丸ボーロ)

(九月会計、記載ナシ)

(十月)

十月一日 日曜 終日雨。

朝五時起。坐行。終日法帖揮毫ス。来客、久保氏、重威。辻重義、宮原きた、斎藤仁子、松平頼子、書をよす。

斎藤兩人よりハンペイ三重。遠山氏、鶏卵一箱。

弘方摘要 辻重義え香料二円。

*ハンペイ(半平)

十月二日 月曜 曇。

朝四時三十分起。行薬。課業如例。来客、朝鮮人兪箕煥、通弁山崎英夫、面晤ス。

田村増子より鳥の子餅一箱、鯉節券三円。石川氏、カステイラ一箱。

十月三日 火曜 曇又細雨。 閑院宮参殿日。

朝四時半起。行薬。課業如例。

高鹿氏親戚石川氏より寿もし一箱。

十月四日 水曜 雨、終日降不止。

朝五時起。行薬。課業如例。落合氏、毎水曜朝、教授申出ル。此日ヨリ始ム。来客、渡辺重石丸先生。

十月五日 木曜 雨。

朝五時起。行薬。課業如例。来客者、伊沢浦子保証人菊池剛二。伊沢浦子入門。

跡見玉枝より蒸菓子。

弘方摘要 陽子より九、十ノ二ヶ月分、二円。

十月六日 金曜 雨、終日。 戸田、岩倉行。

朝五時起。課業如例。午前、戸田家、田村氏、岩倉家ニ教授して三条邸ニ参リ、資君様ト面晤、夕景帰。

陸奥国弘前市本行寺協日照え絹本短冊老枚ヲ寄ス。

三条資君様より花色ちゝふ一反。斎藤蔵之助より鮎十尾。

*花色ちゝふ(花色秩父)

十月七日 土曜 晴、始テ好天気。

朝五時起。行薬。課業如例。午下、桃子、泰トヲ拉して、上野美術電覽会ニ行。絵画ヲ観テ散歩して帰。此朝、美濃遠藤祖母哲女死去電報来。葬式九日午前十時也。

*上野美術電覽会(上野美術展覧会)

十月八日 日曜 晴。

朝五時起。行菓ス。終日法帖揮毫、入夜不止。
江副氏より、[琳璃籠](#)。

*琳璃(林檎)

十月九日 月曜 晴。

朝五時前起。行菓。課業如例。来客、松野鉄千代、西村政子。井上光氏より書至。
中山正子より栗一籠。依田雛子より、アキベ。下婢茂より栗。西村氏より衛生あめ一箱。

十月十日 火曜 晴。

朝五時起。行菓。課業如例。午下、裏松氏ヲ訪。閑院宮ニ詣シ、御教授申上而帰。帰途姉邸ヲ訪而帰。来客、万里通房、田村金十郎、夜、玉枝。入塾、田村知宇子。
田村金十郎より、干菓子一箱。

十月十一日 水曜 晴。

朝一時起。行菓。二時臥、又五時起。課業如例。午下、高輪毛利家え参り、従二位様、安子様ニ拝晤ス。また御新殿ニテ正四位様、美佐子様ニ拝晤ス。御輿入後御めもしニ付、御互さまニ御なつかしく、種々御物語して御夕餐戴テ帰ル。此日来客、菊地剛二妻。
毛利安子より[友仙縮緬](#)、[すそよけ](#)、[帯とめ](#)、名札入。美佐子さまより白縮緬袖地、御袱子。
菊池妻、干菓子。

*友仙縮緬(友禅縮緬) *すそよけ(裾除) *帯とめ(帯留)

十月十二日 木曜 晴又雨。

朝五時起。行菓。課業如例。

横浜渡辺より林檎一籠。中村敬子より蒸菓子二重。五軒町重威より柿、[柘榴](#)、[ぐみ](#)。

*柘榴(柘榴) *ぐみ(茱萸)

十月十三日 金曜 陰。七十四度。戸田、岩倉行。

朝五時起。行菓。課業如例。十二時前より戸田家二行、又岩倉家二行、教授して三条家二行、資君様と御談し有て、入夜帰。

戸田家より林檎一籠。岩倉家より[なまぶし](#)一籠。

*なまぶし(生節)

十月十四日 土曜 陰、夜大雨。七十四度。徳川邸行。

朝五時起。行菓。課業如例。午下一時より徳川邸二行、教授して帰。夕景より姉邸二行、閑談移時、九時帰。栄子、新場祭礼二付、迎來而行。

徳川氏より、一日香一箱。奥村八重子より、西京柿。安田氏より、松魚一箱。

十月十五日 日曜 陰又雨。

朝五時起。行菓ス。終日揮画ス。来客、重威、斎藤仁子。
斎藤仁子より葡萄一籠、練羊羹一箱。

十月十六日 月曜 雨。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、九条家谷菅子来。此日、恵子様、御着帯御祝及御袖留御祝申来。松野鉄千代来。縁段少シク調懸ル。

九条恵子より藤色紋付裾模様単振袖、白重付友仙縮緬単振袖。黒川三従より葡萄一籠。
受方摘要 九条家より壱円。

*縁段(縁談) *友仙縮緬(友禪縮緬)

十月十七日 火曜 雨。 閑院宮御稽古日、不参。

朝五時起。坐行。終日揮毫。栄子、新場より帰来。

新場ばより栗一籠。

*ば(婆)

十月十八日 水曜 天始晴、夜月光清。十二時頃ヨリ大雨。

朝四時起。行菓。課業如例。来客、田村長子、増子病氣全快ニ付、御礼ニ来。入塾、鈴木雪子。余、晡時より姉邸ヲ訪テ帰。

田村氏より繻珍羽織裏地、縮緬腰帯、带上二ツ、半襟二ツ、煙艸三箱、菓子三箱。斎藤氏より大栗沢山、はんぺい。

*はんぺい(半平)

十月十九日 木曜 晴。

朝四時半起。行菓。課業如例。愛治郎、上野一番汽車ニテ宇都宮松の篤義氏ヲ訪テ、夜九時前帰。来客、井上市兵衛、一宿。

横浜原氏より葡萄一籠。井上市兵衛より鶴骨美毫。

*松の篤義氏(松野篤義氏)

十月二十日 金曜 晴。 戸田、岩倉、稽古日。

五時起。行菓。課業如例。午早々戸田氏、岩倉氏え往、教授して松野氏ヲ訪。丹羽花子先在、晚餐ヲ喫して帰。月清光。

島田三郎男児、土神詣ニ付、鶴の子もち一箱、松魚三円。岩倉梭子よりきくの造花籠入。
*鶴の子もち(鶴の子餅) *きく(菊)

十月廿一日 土曜 晴。

朝五時起。坐行。課業如例。午下山県大臣邸二行、蒙中御見舞申入ル。松子ト暫時閑談して去。安富氏ヲ訪而帰。帰途五軒町姉邸ニ寄、暫時ニして帰。来客、大沼枕山娘嘉年、成田菊。成田菊より柘榴一籠。

*山県大臣邸(山県大臣邸) *蒙中御見舞(蒙中御見舞)

十月廿二日 日曜 晴。

朝五時起。行藁。余、愛治郎、千久、泰ト同しく、神奈川成田氏ヲ訪。天朗気清、泛舟、築波止場辺ニテ垂釣有漁、夕陽之海面、実快闊。此夜、後観月ニ当、月又清光、波如金。喫晩餐而帰。来客、松の鉄千代、重威。

浮雲のかゝらハかゝれ神代より月の鏡の影はくもらし

山口氏より鐘詰物二ツ、菓子一箱。

*松の鉄千代(松野鉄千代)

十月廿三日 月曜 雨。

朝五時起。行藁。課業如例。

中山孝丸より松茸。

十月廿四日 火曜 大雨。

朝五時起。坐行。課業如例。午下、閑院宮御教授申上て帰。雨全晴。夜満月、雨後天晴、月尤清。来客、(氏名欠)

いく度かまきの板戸をさしかねて月に寐られぬ夜半にそ有ける

十月廿五日 水曜 晴。 慈恵院行。

朝五時起。課業如例。午下早々田村氏ヲ訪ヒ、長子、増子、原田妻君ト同道、慈恵院ニ行。美術品ヲ縦覧し、絵画揮毫場及陶器焼物場ニ暫時遊ひて帰。田村え寄、喫夕餐帰。来客、久米節、小児二人、久米姉来。重威、山崎丑江帰国暇乞ニ来。

山崎丑江より菓子一箱。久米より芋煎餅一籠。目黒氏より真綿一包。

受方摘要 佐久間元三郎より壺円。

十月廿六日 木曜 雨。

朝六時起。坐行。課業如例。

渡辺良斎より菓子一箱、茶券一円。石神井豊田より雉子一羽。

十月廿七日 金曜 晴。

朝五時起。課業如例。来客、宇都宮高子志賀氏縁段ニ付、来ル。余、午、戸田氏教授して帰。堀田善子より松魚券一箱、赤飯一箱。

*縁段(縁談)

十月廿八日 土曜 晴、月光。夜雨。

朝五時起。課業如例。来客、松平鞆子、画揮毫せらる。佐藤正三妻、法帖願出ル。

京都辻重義より縮緬袱紗一箱。佐藤正三より菓子一箱。

受方摘要 佐藤正三より千疋。

十月廿九日 日曜 晴、月光清。

朝五時起。行藁ス。来客、堀田伴子。五軒町姉邸ニテ観菊の宴ヲ催し、四時頃より同邸ニ行、菊ヲ見テ晡時帰。此夕、十一号室ニテ幻灯会有リ。

井上光より松茸一籠。堀田氏より蒸菓子一箱。山県伯より縮緬袱紗一箱、煎茶一籠。

受方摘要 堀田伴子より三百疋。

十月三十日 月曜 晴。

朝五時起。行藁。課業如例。来客、松平鞆子、揮画ス。夜、駒込火。

中村元嘉より松茸。万里小路より、さんま一籠。

十月三十一日 火曜 晴。

朝五時起。行藁。課業如例。午下、閑院宮に詣し、御教授申上て帰。此日、北白川宮御二所、熊本より御帰京、新橋え五時四十五分御着ニ付、御迎え申上ル。稲子も御供。皆々御対顔申上て帰。

(十月会計、記載ナシ)

(十一月)

十一月一日 水曜 晴。

朝五時起。行藁。課業如例。泰、此日より礫川小学尋常四年級ニ入ル。

沢村鶴より秋田露漬、秋田露摺袱紗。

十一月二日 木曜 雨又晴。夜大雨。

朝五時起。行藁。課業如例。岩浪稲子病氣之由、書至。来客、朽木鋪子、此度九鬼氏え縁段治定ス、其伯母卜暇乞ニ来ル。吉川真佐子始テ来。晡時、往姉邸帰。

吉川真佐子より、カステイラ一箱、縫模様袱紗。吉村より菓子一箱。美濃青木久衛より松茸二籠。

受方摘要 朽木鋪子より千疋。

*縁段(縁談) *吉村(芳村)

十一月三日 金曜 天長節。天晴朗。

朝五時起。行薬ス。此朝、松木氏へ行。近日結婚之祝詞ヲ伸、贈ルニ、保多織一反、松魚一箱ヲ以テス。昼餐、祝酒ヲ饗せらる。それより島田氏ヲ訪テ帰。午下二時より生徒ヲ拉テ植物園ニ行。園中紅葉呈秋色、山上山下散歩逍遙して、四時過帰ル。此夜、姉邸ヲ訪テ帰。来客、三条資君様成らせられる。

受方摘要 資君様より一円。

十一月四日 土曜 晴。

朝四時半起。行薬ス。七時ヨリ北白川宮え詣ス。両殿下ニ拝謁ス。稻子之病氣ヲ訪フ。病全治ス。帰途、姉邸ヲ訪テ帰。愛治郎、江副氏新築宴会ニ招レ、行而夜十一時帰ル。

北白川宮より黄金滝一箱、みとり筆二包。

十一月五日 日曜 朝雨、已而晴、晴朗。

朝五時起。行薬ス。余、千久子ト同しく呉服鋪白木屋、三井、升見屋へ行、呉服物ヲ調而帰。来客、吉田丹治郎。晡時、姉邸ヲ訪而帰。

岩浪稻子より瑠球壁重組弁当。園祥子より干菓子。森永辰江より、すもし一箱。築井環より竹の子。

払方摘要 呉服物、九円九十銭。

*呉服鋪(呉服鋪) *瑠球壁重組弁当(琉球塗重組弁当)

十一月六日 月曜 晴。

朝四時半起。行薬ス。課業如例。寄書、閑院宮、三条家。鎌田元子入塾ス。斎藤氏より蒸菓子一箱。安田輝子より鴨一番。

十一月七日 火曜 晴。

朝五時起。課業如例。午下早々三条邸ニ行、資子様ト閑談、移時帰。帰途姉邸ニ寄、岩浪稻子来、暫時語旧而帰。渡辺千夏、暑假より始而帰塾ス。須田きよ子入門。中村氏より松茸、しめし。渡辺千夏より八橋織一反。

*しめし(占地)

十一月八日 水曜 陰、夜大雨。

朝四時起。行藁。課業如例。夕、訪姉邸帰。
万里家より柿。

十一月九日 木曜 晴朗。

朝五時起。課業如例。來客、重威、加茂富子。
与五郎より菊三鉢。渡辺政子より奈良漬一樽。加茂富子より**鱧の肴切一重**。

***鱧の肴切(鱧の骨切)**

十一月十日 金曜 晴。 戸田家、三条家行。

朝五時起。行藁ス。課業如例。正午、戸田家二行、教授して三条家え参り、此日毛利美佐子
様御入ニテ、資君様、波江、余ト一室ニ閑談移時、御晚餐ヲ喫して、同時御帰館也。

松平輛子より鶏卵一箱。大井氏より松茸一籠。

十一月十一日 土曜 朝雨、雷鳴。一洗して快晴。

朝五時起。課業如例。午下、余、千久子、大塚豊子ト同しく、教育慈善会、後樂園二行。総
裁宮閑院智恵子様ニテ、到ル処知人のみにて快樂無極。園景秋色未タ十分ニ到らず、乍然、
名園極佳、松林中菊水之幕ヲ張、川上氏、楠公桜井之馱ヲ演ス、又妙。終テ帰。來客、久保
(空白)子入塾願出ル。岩浪稻子、松野鉄千代來、一宿。

岩浪氏より鶏卵一箱、朝鮮飴一箱。松野氏より**そは**二籠。久保氏より鶏卵一籠。

***そは(蕎麦)**

十一月十二日 日曜 晴。

朝五時起。行藁ス。午下早々、余、千久子、桃子ト同しく竹林え行。一時迄ニ同家ニ來ル約
有。斎藤仁子、松野鉄千代、岩浪稻子來、真影ヲ写ス。畢而皆帰。此不在中、毛利元敏子夫
人來。

毛利氏より朝鮮飴一箱、煙草。

十一月十三日 月曜 晴。 小試験執行。

朝五時起。行藁。課業如例。午下、余、愛治郎、千久子ト同しく、団子坂辺散歩して、四時
頃帰ル。此日、久保豊子入塾ス。生徒三級之者ニ授号十人。

伊藤子之松より樽柿。斎藤氏より**五家棒**十袋。同仁子より口取料理一皿。

***五家棒(五家宝)**

十一月十四日 火曜 晴。

朝五時起。行藁。課業如例。午下、閑院宮御息所御稽古上テ、帰途佐野隱居ヲ訪ヒ、斎藤仁
子同道ニテ五軒町え行。帰途佐野氏え寄、晚餐ヲ喫して帰。此時、指ヶ谷町火。宮沢沢子入

塾。

齋藤善子より蒸菓子一箱、雲州柑。

受方摘要 佐藤姑子より、六円。

十一月十五日 水曜 晴。

朝六時起。課業如例。

受方摘要 奥村八重子より五円。

十一月十六日 木曜 晴、夜雨。

朝六時起。課業如例。夕、訪姉邸而帰。

十一月十七日 金曜 朝雨、已而晴。

朝五時起。行菓。課業如例。午下、戸田氏、田村氏、岩倉氏、三条邸二行而帰。試験全畢、生徒帰家ス。

受方摘要 中村敬子より五円。

高麗氏親戚より、みかん一箱。

十一月十八日 土曜 晴。 徳川邸行。

朝五時起。行菓。午下、徳川邸二行、教授して帰途、訪久米氏、晚餐ヲ喫して帰。

久米節より友仙縮緬一反。

*友仙縮緬(友禅縮緬)

十一月十九日 日曜 晴。

朝五時起。行菓ス。午下、高輪毛利邸ヲ訪、又御新殿ニテ閑談移時、夕餐ヲ戴テ帰ル。月清光。

加茂玉江より真綿。中山正子よりしめし。

受方摘要 三条篤子より五円。

*しめし(占地)

十一月二十日 月曜 晴。

朝四時半起。坐行。課業如例。石神井村より弘児帰ル。

齋藤氏より、望中二重。田中駒子より、カステイラ大一箱。戸田氏より菓子大箱。石神井高橋より柿。同豊田より柿。

*望中(最中)

十一月廿一日 火曜 晴。

朝五時起。行藁。課業如例。午下、閑院宮御教授申上去ル。野口桃天子入門。
受方摘要 角田四三より五円。

十一月廿二日 水曜 陰。 三条邸懇話会。

朝五時起。行藁。課業如例。午下早々往三条邸。此日貴婦人会、副会長始幹事特別会員、会者廿名。始茶菓又寿もし等ヲ饗せらる。余興、円遊之落語二席演ス。点灯頃、全畢皆去。松野氏より松魚一箱。齋藤氏より柿一箱。

受方摘要 松野利根より、五円。

*柿(カキ)

十一月廿三日 木曜 新嘗祭。晴。

朝五時起。行藁。朝ヨリ鶴子七歳祝事二付、泰、栄、鶴、弘之四人ヲ拉して氷川神社ニ参詣して姉邸二行、写真二行て皆帰。午後四時より祝宴ヲ開き、賑々敷事也。

重威より松魚一箱。山片菊よりはき物一足。

*はき物(履物)

十一月廿四日 金曜 晴。

朝五時起。行藁。課業如例。午下、戸田氏教授して田村氏え寄而帰。直ニ余、桃子ト同しく滝溪霜葉ヲ観ル。川の前後逍遙して紅葉ヲ弄し、憩茶亭、写真景。紅葉ハ盛ヲ過、已而帰。帰途、巢鴨寿山園紅葉ヲ観ル。園主案内して穴戸氏庭園霜葉之多、実可驚。錦繡之世界之如し。所々茶室ニ息イ、此美景ニ応ニ不能行。日暮帰。

田村氏より日本一吉備団子一箱。

十一月廿五日 土曜 晴、夜月清。 星岡茶寮行。

朝五時起。行藁。課業如例。午〇時、往星岡茶寮ニ。此松田氏還歴之祝宴也。薄茶会席及円朝之落語有リ、飲ヲ尽して帰。寒月清光、八時也。佐野新子来。

佐野隠居より蒸菓子一箱。千世滝三年祭、饅頭一箱。森永琴より、しらすぼし、たんぼ。

*還歴(還暦) *たんぼ(湯婆)

十一月廿六日 日曜 晴、夜又晴、月清。

朝五時起。行藁。課業如例。終日揮毫ス。貴婦人会員十二人より真綿一包、三条会長え献上ス。来客、茂木保平来。堤氏つね子え書を寄ス。

茂木氏より絹半力半タース一箱。

*絹半力(絹ハンカチ) *半タース(半ダース)

十一月廿七日 月曜 晴。

朝五時起。行菓。課業如例。午下、田村氏ヲ訪テ帰。
浜野元花より饅頭一箱、茶一鐘。高鹿信子より鶏卵一箱。

十一月廿八日 火曜 晴。

朝五時起。行菓。課業如例。午下、閑院宮に詣シ御教授申上て、三条邸二行。資君様と閑談して帰ル。來客、佐々木豊子、謙児ヲ連て來ル。岩浪稲子、三十日大坂え発車ニ付暇乞ニ來ル。玉枝來ル。

吉川真佐子より鶏卵一箱。佐々木豊子より蒸菓子一箱。

受方摘要 吉川真佐子、五円。

十一月廿九日 水曜 晴。

朝五時起。坐行。課業如例。來客、堤常子、宮崎道正來、志賀重昂縁段、断然断來。庭園楓樹及錦木ドウダン、実ニ未曾有。秋色如錦繡。本月之始より染出して、今に不衰、朝夕遊行して妙ト言のみ。

堤常子より輝羊羹一箱。宮城道正より檜子。

*縁段(縁談) *錦木ドウダン(綿木満天星) *輝羊羹(練羊羹)

十一月三十日 木曜 雨。

朝五時起。坐行。課業如例。來客、安田善治郎、妻房子、姪女千代、萩氏妻、堀田善子、重威。入塾、安田千代子。退校、近藤操子。岩浪稲子、此夜九時五十分発汽車ニテ大坂へ行。安田氏より鶏卵一箱、生徒え大福五百数、召仕一同え目録。萩氏よりかすていら一箱。堀田善子より蒸菓子一箱。斎藤兩人より大みかん五十。

受方摘要 中島千重より五円。

*かすていら(カステイラ)

十一月會計

反物、八十八反。

(十二月)

十二月一日 金曜 殊之外晴朗、暖如春。不知寒。

朝五時起。課業ヲ休ス。姉小路千世滝三周年忌執行ニ付、朝十時伝通院ニテ法会ニ会ス。万里通房、石山基正ヲ始メ參詣者來、読経畢テ光円寺墓參ス。墓前ノ華も立派也。濟テ姉邸ニ会ス。昼餐ヲ饗せられる。是又本膳、実立派也。四時全畢。三年祭モ無滞相濟、追悼之中、可喜。立派之法会也。晡時、皆帰。

十二月二日 土曜 晴。

朝五時起。行薬。課業如例。午時、戸田邸、岩倉邸二行、教授して中村元嘉氏ヲ訪テ帰。

十二月三日 日曜 晴。

朝六時起。来客、桜井時子、医師井深玄真。伊王野扶佐子退校。田村仲子退校。桜井時子より菓子一箱。

十二月四日 月曜 晴。

朝六時起。坐行。課業如例。此日ヨリ試筆稽古ニかゝる。来客、重威。齋藤両人より菓子一重。重威よりしんこ細工三。石田常子より鶏卵一箱。

*しんこ細工(糝粉細工)

十二月五日 火曜 晴。

朝六時起。課業如例。午下、閑院宮邸ニ詣し、御教授申上而帰。帰途訪姉邸、入夜帰。園頼子より、皇子御命名御式ニ付、御交肴拝領。

十二月六日 水曜 晴、風。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、岡本幾太郎及宮沢浅治郎。朽木氏より鳥の子餅一箱。岡本宮沢両人より、カステイラ一箱。中村氏より寒菊遙ノ枝。法

馳寺より納豆。美濃震災救恤ニ付、其賞として三ツ組盃下賜、岐阜県知事ヨリ。受方摘要 朽木氏より二円。

十二月七日 木曜 晴。

朝六時起。坐行。課業如例。渡辺政子より真綿。

弘方摘要 陽子え二カ月分、金二円。受方摘要 渡辺政子より千疋。

十二月八日 金曜 晴。

朝六時起。行坐。課業如例。午〇時、戸田邸二行、教授して田村氏ヲ訪テ帰。新場ばより八ツ頭一籠。

*ば (婆)

十二月九日 土曜

朝六時起。行薬。課業如例。

田村氏より歳暮、白紋縮緬一反、絹ハンケチ一ダース、手袋、菓子三箱。
受方摘要 牛込幸子、三円。

十二月十日 日曜 晴。

朝六時起。坐行如例。午下、余、同千久子、上野勸業場及升見屋、東明館へ行、買物して帰。
近藤かえより、するめ、うるめ。五軒町跡見より芋イカ一重。鷺田菊江より鯛、海老一籠。
払方摘要 五円四十五銭。

*うるめ(潤目鯛)

十二月十一日 月曜 晴。 岩倉邸行。

朝六時起。課業如例。午下、岩倉邸二行テ帰。岡田米子入塾。松野氏ヲ訪テ帰。生徒、豎詠
艸の稽古ス。

十二月十二日 火曜 晴。

朝五時半起。行薬ス。課業如例。午下、閑院宮邸ニ教授して、帰途姉邸ヲ訪テ帰。
閑院宮より御すもし一重。

十二月十三日 水曜 晴。

朝五時半起。行薬、課業如例。
森永氏より鶏卵一箱。渡辺玉子より鮭式尾、するめ二連。

受方摘要 大塚豊子より五円。石井初子、五円。照子、梶子、駒子より四円五十銭。

十二月十四日 木曜 晴。

朝六時起。課業如例。大坂岩浪稻子より書至。
大塚陽母より、みかん一箱。花月堂より砂糖一箱。

十二月十五日 金曜 晴、風。

朝六時起。坐行。課業如例。午時ヨリ戸田邸二行、教授して帰。生徒、豎詠草全書畢。森竹
時得、静江来。

下総屋より生鴨二羽。魚初ヨリ鮭一疋。森竹より角砂糖一箱。

十二月十六日 土曜 晴朗。 徳川邸行、差支。

朝六時起。課業如例。夕、同桃子、往五軒町テ帰。寒月如氷。

十二月十七日 日曜 晴、夜月清。

朝六時起。終日揮毫ス。此夕、余、同千久子、池端辺迄買物二行テ帰。

牛込氏ヨリ、かちん。跡見玉枝より鴨一番、福寿艸二鉢。安田輝子より手遊二ツ。

払方摘要 買物費、六円。

受方摘要 安田氏ヨリ十円。西村政子より二円。同、二円五十銭。

十二月十八日 月曜 晴。

朝六時起。課業如例。生徒、画試筆二かゝる。

大塚陽子より、みかん一箱。

受方摘要 中山正子より五円。

十二月十九日 火曜 晴。

朝六時起。課業如例。

伊藤子之より三河島漬二樽。

十二月二十日 水曜 晴、寒甚、陰。

朝六時起。課業如例。来客、江沢房子。

島田三郎より干菓子一箱。若林より初夢漬一壺。広田千代子より干菓子一箱。江沢房子より絹半カチ一ダース箱入。

受方摘要 広田千代子、三円。閑院宮、三十円。

*絹半カチ(絹ハンカチ)

十二月廿一日 木曜 晴。

朝六時起。課業如例。午下、閑院宮様御稽古納して、九条邸二歳暮申上ル。来客、藤堂俊子、堀田善子。

山登みつよりたつ二尾。松田氏より松魚券。佐々木豊子よりヒール五本。閑院宮様より一楽織一反。九条恵子より白縮緬一丈、紙狭、チンコロ。藤堂俊子より、鶏卵一箱。松屋より風呂敷。津田やより千枚漬。

受方摘要 樹下定江、三円。生源寺いさを、三円。平田三枝、三円。吉田鉦子、三円。薺兼子、三円。

*たつ(駄津) *ヒール(ビール) *紙狭(紙挟)

十二月廿二日 金曜 冬至、晴。

朝六時起。課業如例。午下早々戸田邸ニ教授して、岩倉邸二行、教授して帰途、三条邸二歳末申上而帰。夕、余、桃子と同しく池の端え買物二行而帰。

雲竜堂より赤飯一重。戸田氏より縞絹一反。岩倉氏より糸織一反。角田氏より石炭油一箱。鈴木雪より炭七俵。築井環より、カステイラ一箱。

払方摘要 買物、四円。

受方摘要 大館まち、赤塚菊子、伊藤澄子、堀田いさを、六円。戸田氏より十円。岩倉氏より十二円。

十二月廿三日 土曜 晴。 授業納。

朝六時起。課業如例。塾生、午下、各帰省ス。夕、玉枝ヲ訪テ姉邸ニ行而帰。

園頼子より鶏卵一箱。安田千代より鴨二番。遠山兩人より鶏卵一箱。雲竜堂より松魚一箱。正木氏より陶器花瓶箱入。

払方摘要 吉村え一円。五軒町召仕え六十銭。買物、五十銭。

受方摘要 毛利万子より五円。毛利式子より千疋。堀田善子より千疋。若松典侍、一円。糸桜内侍より一円。小菊典侍より三円。

十二月廿四日 日曜 晴。 奥煤払。

朝六時起。午下、園基祥ヲ訪、御産所ニ参り、此度御降誕ニ成らせられ候皇子輝仁王拝謁仰付られる。実ニ御聡明ニ見上らる。御生母小菊典侍様と閑談移時、已而去。来客、原富太郎。

園基祥より白七子一反。高岡美世子より鶏卵一箱。園田銚子より、みかん一箱。斎藤兩人より松魚一箱。原善三郎より、カメヲ煙草。

受方摘要 園田銚子より三円。斎藤兩人より五円。

十二月廿五日 月曜 晴、午下風。 教場、塾煤払。

朝六時起。午下早々徳川邸御稽古納して、御祝酒饗応、済テ帰り、帰途久米氏及宗様御隠居ヲ訪テ帰。

朝鮮弁理大臣より菓子一箱、みかん一箱。徳川家より魚煎餅一箱、かつらぼし。南条氏より菓子一箱、小冊十部。

払方摘要 表え出ス、二百円。両大師え一円。

受方摘要 万里小路国より五百疋。九条家より千疋。徳川家より十五円。

十二月廿六日 火曜 晴。 台所煤払。全畢。

朝六時起。終日揮毫ス。来客、宇都宮高子、松野鉄千代。泰、石神井豊田氏二行。本年勅題、梅花先春。和歌詠進スル者七十二人。

宇都宮氏より松魚一箱。佐藤姑子より鮭一尾、半襟、半カチ。三村松子より鶏卵一箱、はき物一足。鳥居礪子より鴨一番。浜貞子より鴨一番。酒卷氏より白砂糖一箱。松野氏より鶏卵一箱。中村元嘉より奈良漬一樽。松平岳子より鶏卵一箱。池田愛子より白砂糖一箱。蒲生氏より鮭一尾。

受方摘要 佐藤姑子より二円。中村氏より二円。松平岳子より三円。三条家より十円。松野氏より五円。蒲生氏より一円。

*半カチ（ハンカチ） *はき物（履物）

十二月廿七日 水曜 始雪、午下消。

朝七時起。諸葛増子、万里小路通房来。

野口春子より鴨一番。伊藤哥子より大豆一カマス。

受方摘要 諸葛氏より一円。

*カマス(吠)

十二月廿八日 木曜 晴。

朝六時起。午下、小松宮及小松若宮、北白川宮、裏松、万里小路え歳暮三往而帰。此夕、余、生徒九人ヲ拉テ、本郷辺散歩して帰。此日、泰児、從石神井帰来。夜、吉村来。

藤袴様より白味噌一桶、のせかちん。北白川宮より鶏卵一箱。小松若宮より御菓子一箱。上

芝岩太より菓子一箱。小林茂より菓子一箱。中井鉄より鴨。八百やより、みかん一箱。毛利

美佐子より鶏卵一箱。吉村より菓子一箱。

受方摘要 藤袴様より二円。松平鱗子より(記述ナシ)

*吉村(芳村) *のせかちん(能勢かちん)

十二月廿九日 金曜 晴。午前十一時過、地震。国会、停会被命。

朝六時起。揮毫ス。夕景より池の端辺迄買物二行テ帰。

横浜原氏より壁小紋一反、角砂糖三包。小島愛子より真綿一包。池田亥之助より鶏卵一箱。

目黒夢子より絹半かち三枚。小笠原純子、鴨一番。新井信子、鴨一番。五十嵐駒子、鶏卵一

箱。玉手菊洲より、みかん一籠。

弘方摘要 買物、一円三十銭。

*絹半かち(絹ハンカチ)

十二月三十日 土曜 晴。国会、解散被命。

朝六時起。暮の準備多忙也。

池田幾子より、カステイラ一箱。稲垣銚子より松魚一折。久米節子、御召織小紋紋付むく三

枚重。小松宮様より、カステイラ一箱。山内節子より砂糖一箱。

弘方摘要 買物、五十六銭。

*むく(無垢)

十二月三十一日 日曜 晴。十二月一日より三十一日間、無雨。

朝六時起。掃除ス。

波多野、真綿。深見より撫漬一樽。北村静より、みかん一箱。

弘方摘要 五十円也。表え借ス。

*撫漬(蕪漬) *借ス(貸す)

十二月會計

反物惣計、九十九反。

明治廿六年總計

払方摘要 惣計、六百三十五円四十六錢也。

受方摘要 惣計、六百六十三円也。